

平成29年度
福岡都市圏における
留学生実態調査
—— 要約版 ——

平成30年3月

福岡市

■ 調査の目的

今回の調査は、国際的な都市間競争と留学生の獲得競争が激しさを増していく中で、今後、福岡市が、優秀な留学生の呼び込みと地元での創業・就職による定着促進を図る上での課題や必要な支援について、洗い出しを行い、留学生がグローバル人材として活躍できるまちの実現に向けて戦略的に施策を展開していくための基礎資料を得ることを目的とする。

■ 調査実施

- (1) 調査主体：福岡市
- (2) 集 計：(株) サーベイリサーチセンター

■ 調査期間

平成29年12月11日（月）～平成30年1月10日（火）

■ 調査方法

- (1) 調 査 対 象：福岡都市圏の大学・短大22校に在籍する外国人留学生4,802人
- (2) 配布と回収：各大学の留学生課等を通じて配付し、郵送にて回収
- (3) 回 答 者 数：941人

■ 調査の項目

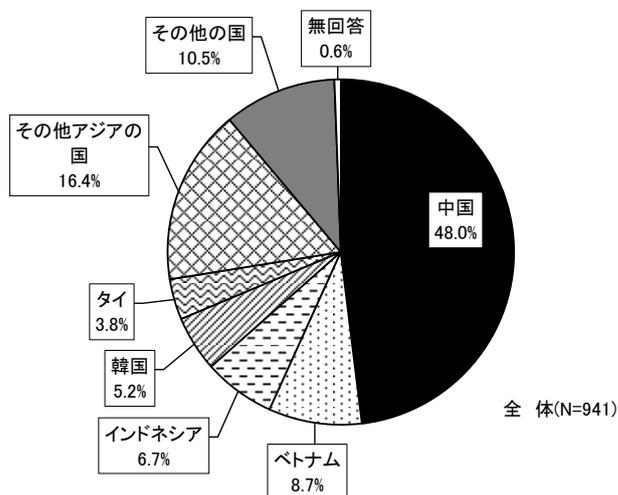
- I 回答者の属性
- II 留学について
- III 日常生活について
- IV 卒業後の計画について
- V 日本での就職について
- VI 帰国後の計画について
- VII 日本での創業について

I 回答者の属性

①出身国・地域

出身国・地域は、「中国」(48.0%)が最も多く、次いで「ベトナム」(8.7%),「インドネシア」(6.7%)の順である。回答者の出身国・地域の総計は62か国・地域である。

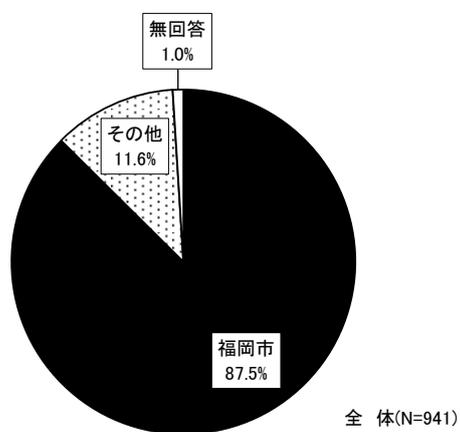
【出身国・地域】



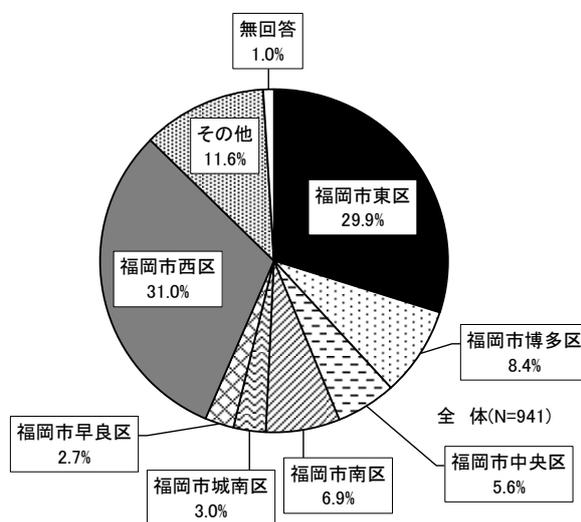
②居住地

居住地は、『福岡市』(87.5%)が約9割である。

【居住地】



【居住地(8区分)】

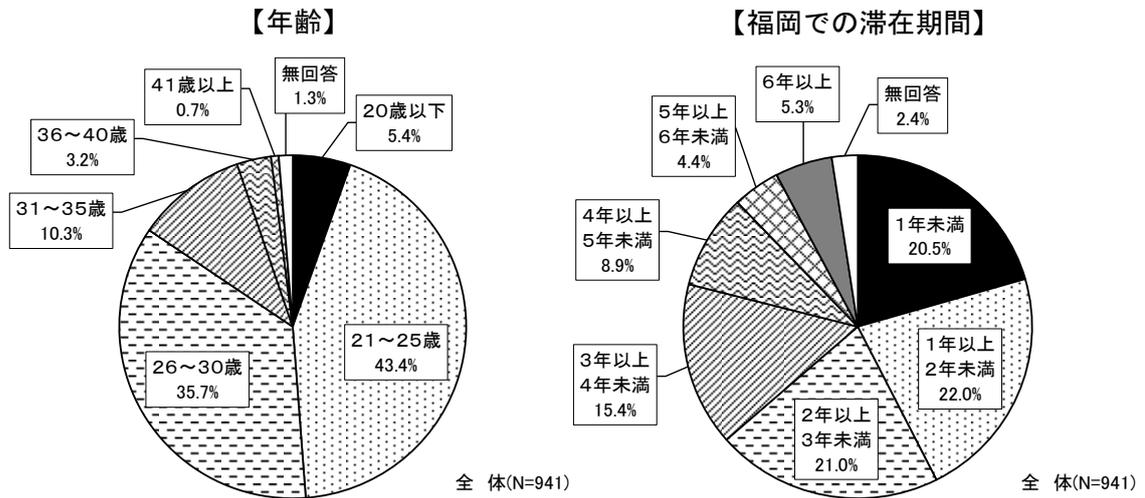


③年齢

年齢は、「21～25歳」(43.4%)が最も多く、次いで「26～30歳」(35.7%)、「31～35歳」(10.3%)の順である。年齢の平均は26.2歳である。

④福岡での滞在期間

福岡での滞在期間は、「1年以上2年未満」(22.0%)が最も多く、次いで「2年以上3年未満」(21.0%)、「1年未満」(20.5%)の順である。

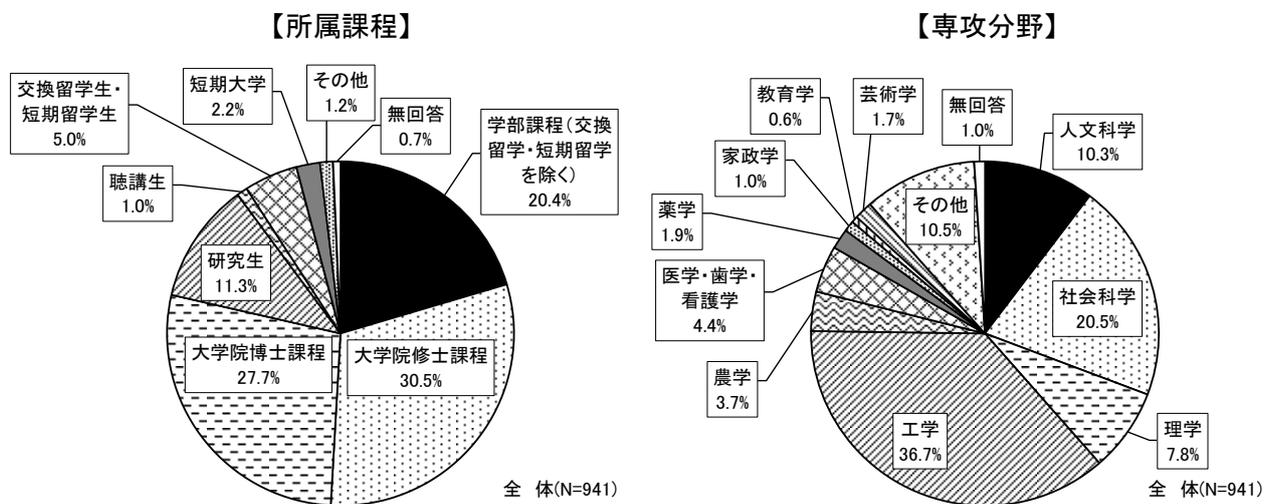


⑤所属課程

所属課程は、「大学院修士課程」(30.5%)が最も多く、次いで「大学院博士課程」(27.7%)、「学部課程(交換留学・短期留学を除く)」(20.4%)の順である。

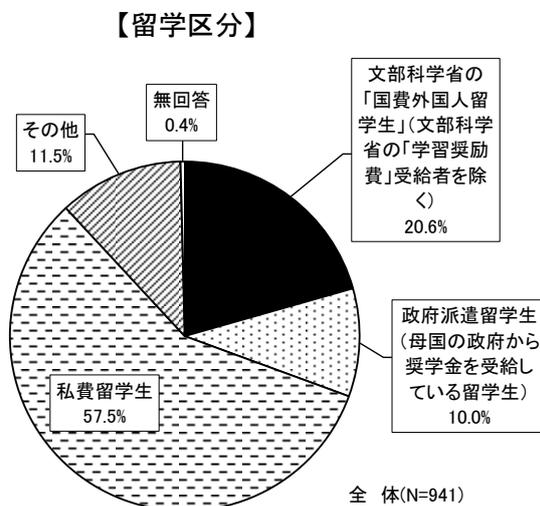
⑥専攻分野

専攻分野は、「工学」(36.7%)が最も多く、次いで「社会科学」(20.5%)、「人文科学」(10.3%)の順である。



⑦留学区分

留学区分は、「私費留学生」(57.5%)が最も多く、次いで「文部科学省の「国費外国人留学生」(文部科学省の「学習奨励費」受給者を除く)」(20.6%)、「政府派遣留学生(母国の政府から奨学金を受給している留学生)」(10.0%)の順である。

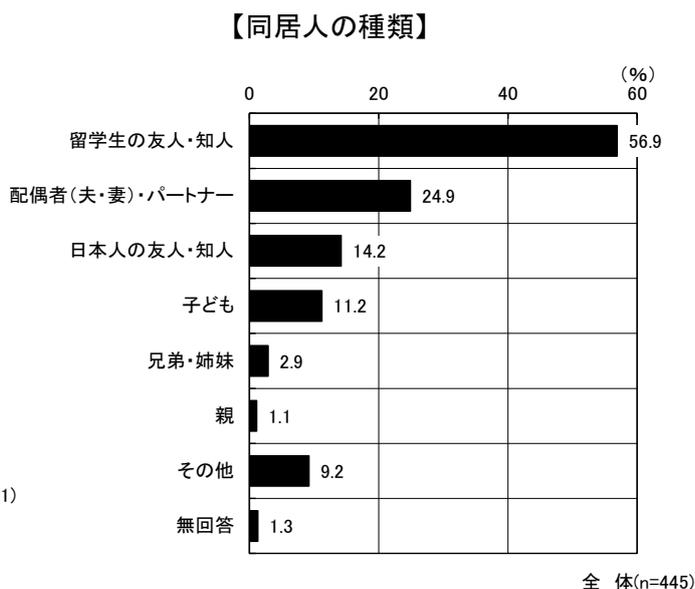
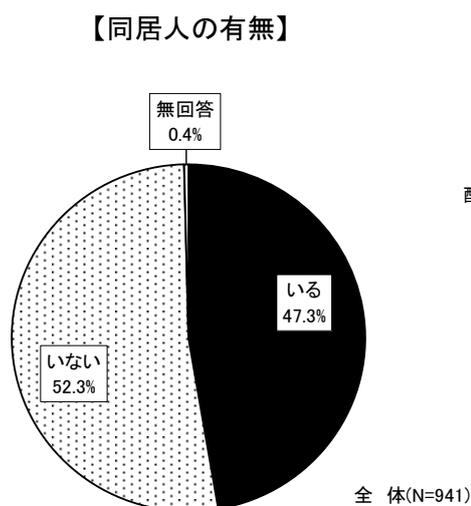


⑧同居人の有無

同居人の有無は、「いない」(52.3%)が「いる」(47.3%)より多い。

⑨同居人の種類

同居人の種類は、「留学生の友人・知人」(56.9%)が最も多く、次いで「配偶者(夫・妻)・パートナー」(24.9%)、「日本人の友人・知人」(14.2%)の順である。



II 留学について

(1) 留学の情報 (問10)

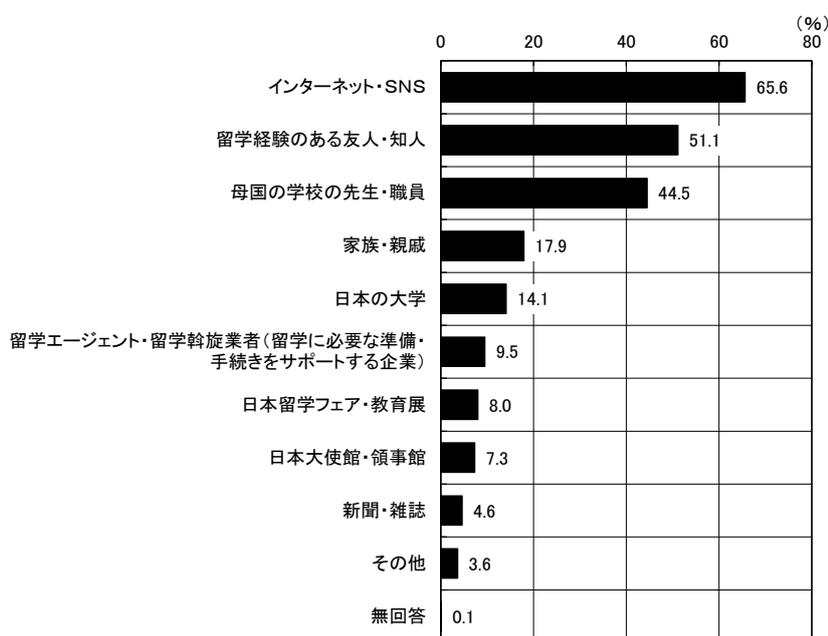
①留学情報の入手媒体

留学情報の入手媒体は、「インターネット・SNS」(65.6%)が最も多く、次いで「留学経験のある友人・知人」(51.1%)、「母国の学校の先生・職員」(44.5%)の順である。

②利用したホームページ

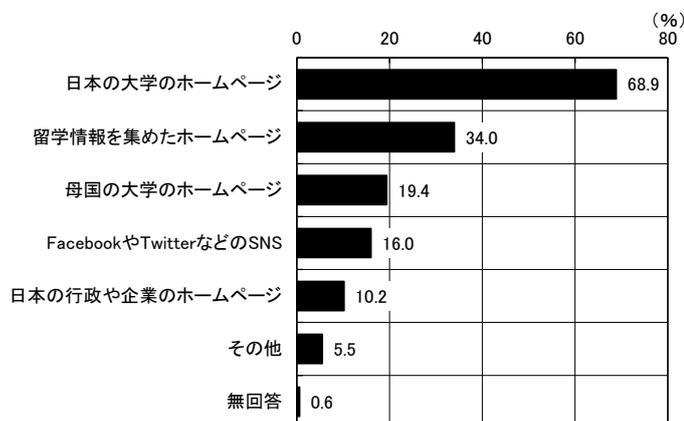
利用したホームページは、「日本の大学のホームページ」(68.9%)が最も多く、次いで「留学情報を集めたホームページ」(34.0%)、「母国の大学のホームページ」(19.4%)の順である。

【留学情報の入手媒体】



全体(N=941)

【利用したホームページ】

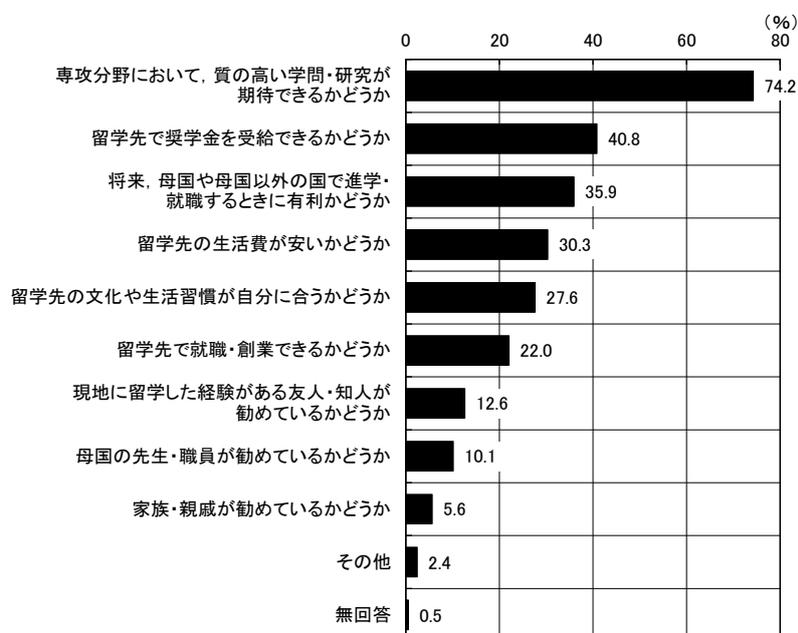


全体(n=617)

(2) 留学先を選ぶ際に重視した点 (問11)

留学先を選ぶ際に重視した点は、「専攻分野において、質の高い学問・研究が期待できるかどうか」(74.2%)が最も多く、次いで「留学先で奨学金を受給できるかどうか」(40.8%)、「将来、母国や母国以外の国で進学・就職するときに有利かどうか」(35.9%)の順である。

【留学先を選ぶ際に重視した点】

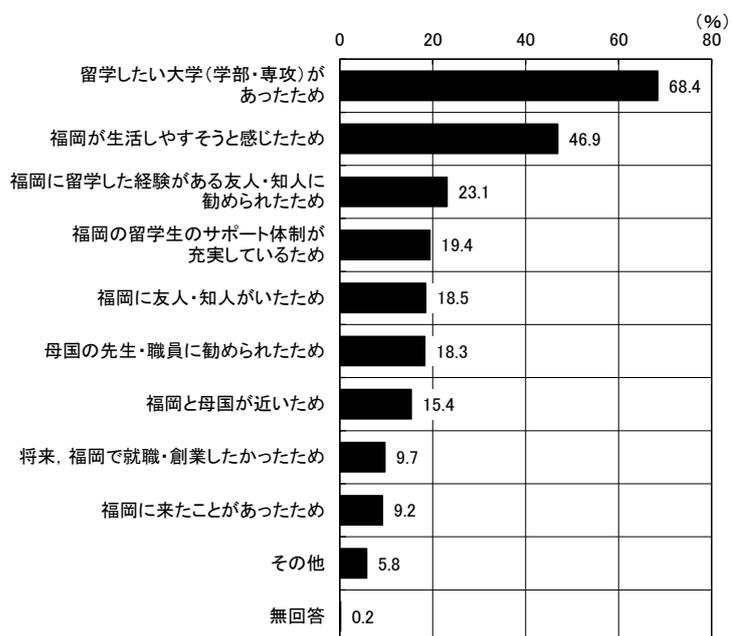


全体(N=941)

(3) 留学先に福岡を選んだ理由 (問12)

留学先に福岡を選んだ理由は、「留学したい大学(学部・専攻)があったため」(68.4%)が最も多く、次いで「福岡が生活しやすそうと感じたため」(46.9%)、「福岡に留学した経験がある友人・知人に勧められたため」(23.1%)の順である。

【留学先に福岡を選んだ理由】



全体(N=941)

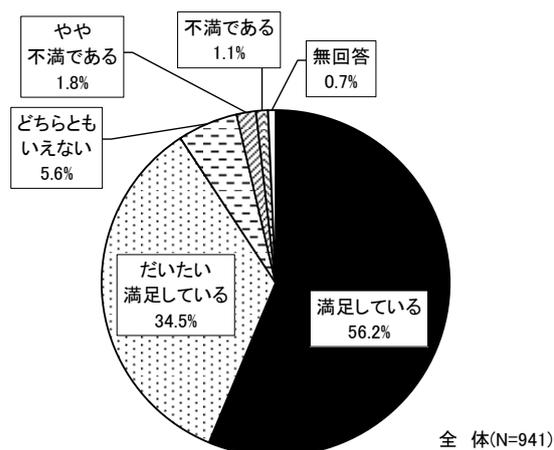
Ⅲ 日常生活について

(1) 福岡での生活の満足度 (問13)

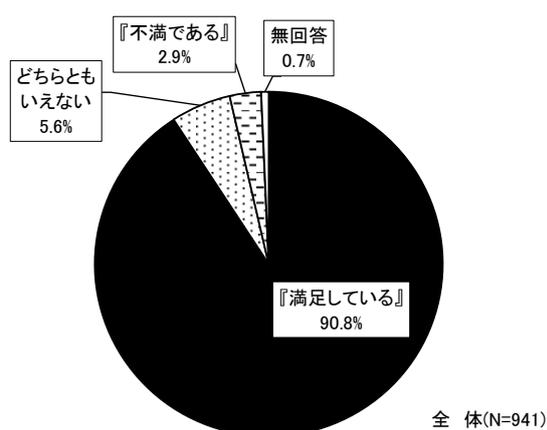
福岡での生活の満足度は、「満足している」(56.2%)が最も多く、次いで「だいたい満足している」(34.5%)、「どちらともいえない」(5.6%)の順である。

「満足している」と「だいたい満足している」を合わせた『満足している』の割合は90.8%、「不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満である』の割合は2.9%である。

【福岡での生活の満足度】

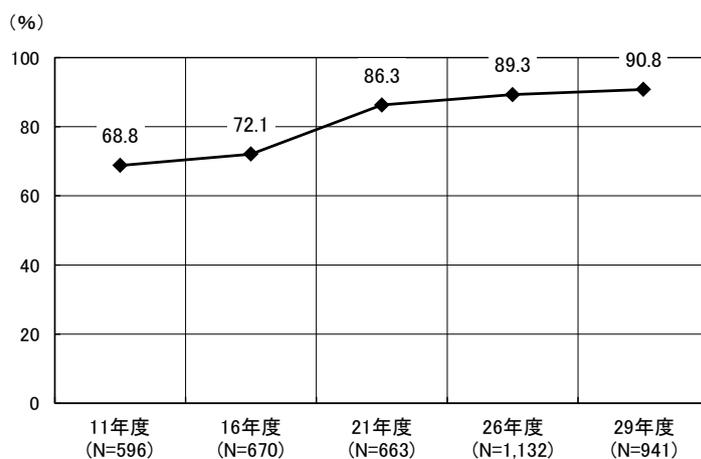


【福岡での生活の満足度 (3区分)】



過去の調査結果と比較すると、『満足している』(90.8%)の割合は、平成11年度(68.8%)から22.0ポイント増加している。

【福岡での生活の満足度 (経年)】



(2) 日常生活の悩みや困っていること (問14)

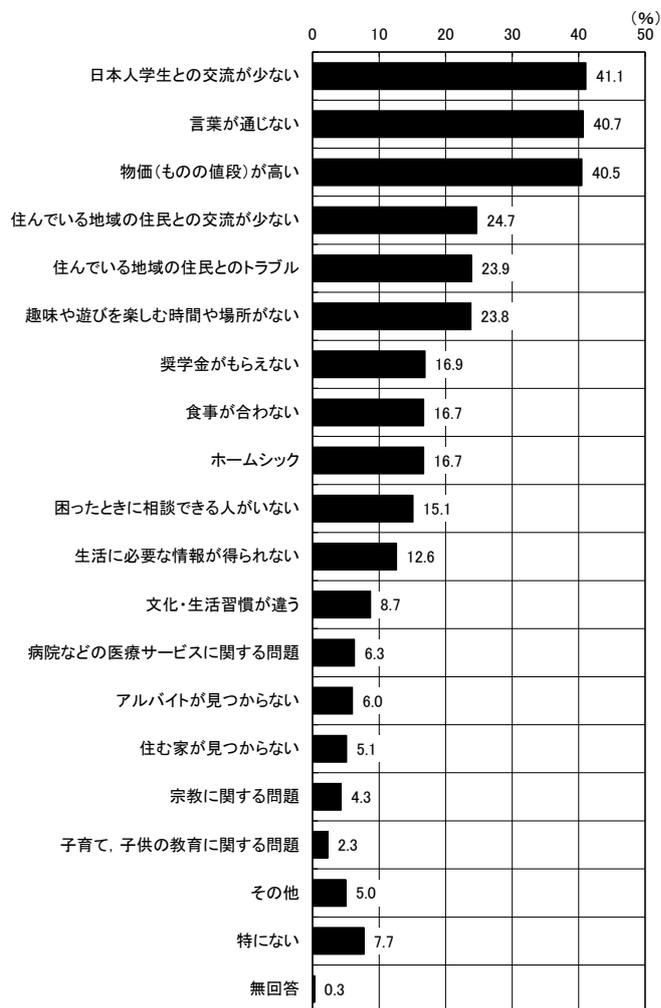
① 日常生活で悩んでいることや困っていること

日常生活で悩んでいることや困っていることは、「日本人学生との交流が少ない」(41.1%)が最も多く、次いで「言葉が通じない」(40.7%)、「物価(ものの値段)が高い」(40.5%)の順である。

② 住んでいる地域の住民とのトラブルの内容

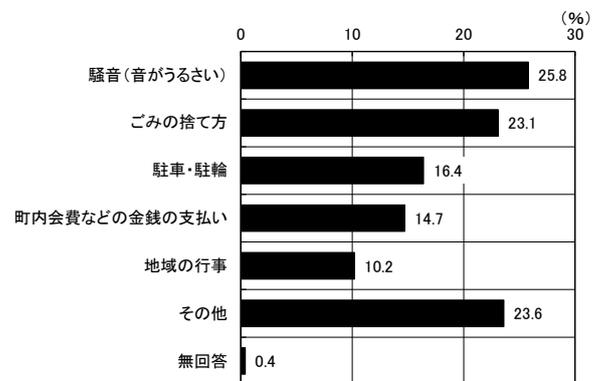
トラブルの内容は、「騒音(音がうるさい)」(25.8%)が最も多く、次いで「ごみの捨て方」(23.1%)、「駐車・駐輪」(16.4%)の順である。

【日常生活で悩んでいることや困っていること】



全体(N=941)

【トラブルの内容】

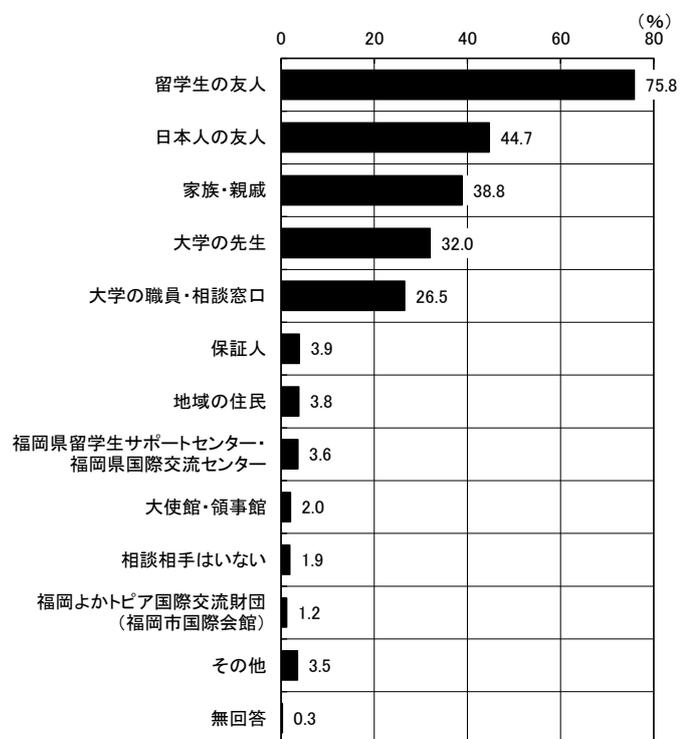


全体(n=225)

(3) 困っていることや悩んでいることの相談相手 (問15)

困っていることや悩んでいることの相談相手は、「留学生の友人」(75.8%)が最も多く、次いで「日本人の友人」(44.7%)、「家族・親戚」(38.8%)の順である。

【困っていることや悩んでいることの相談相手】



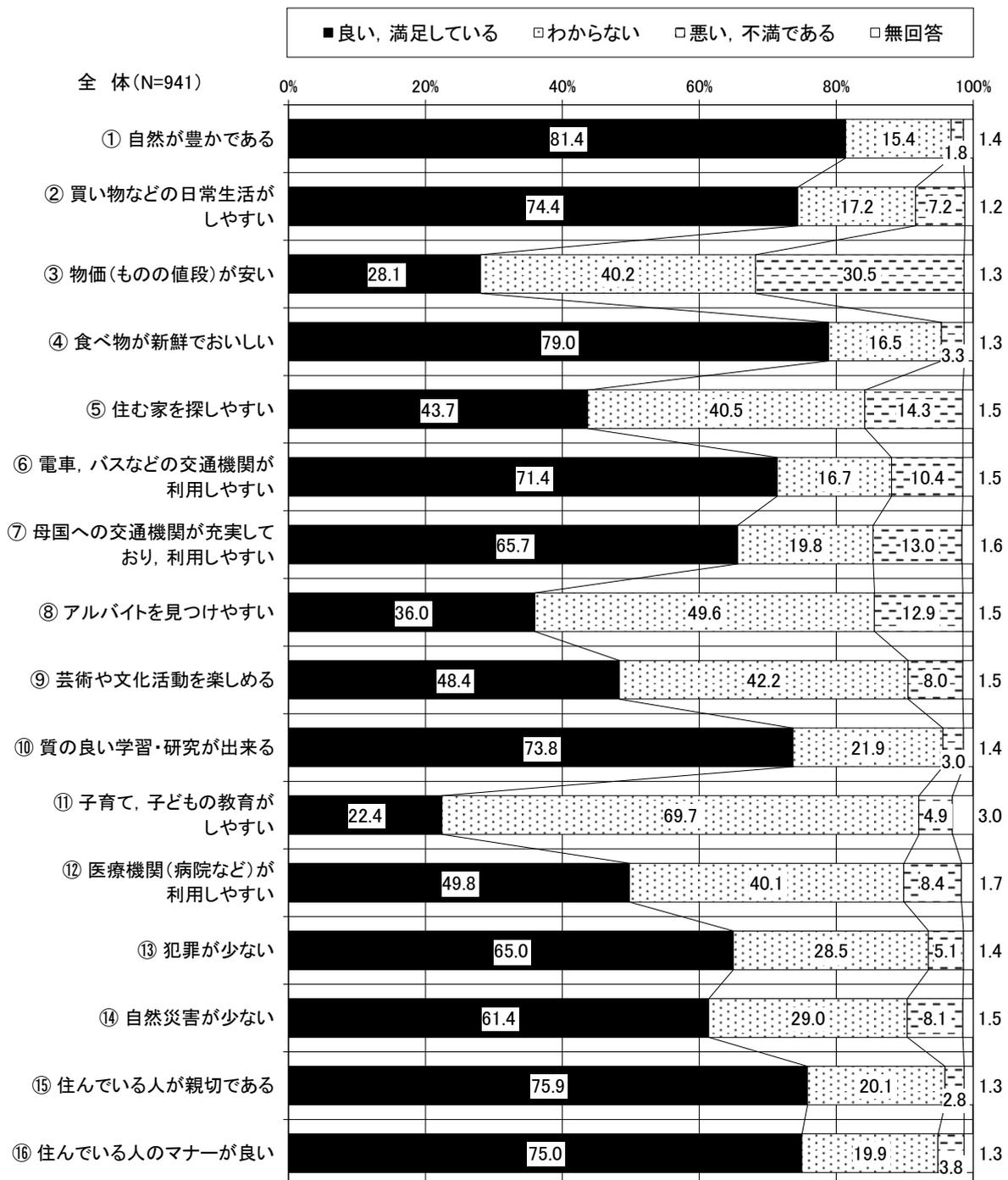
全体(N=941)

(4) 福岡の生活環境の満足度 (問16)

福岡の生活環境の満足度は、「① 自然が豊かである」(81.4%) が最も高く、次いで「④ 食べ物が新鮮でおいしい」(79.0%)、「⑮ 住んでいる人が親切である」(75.9%) の順である。

一方、「悪い、不満である」の割合は、「③ 物価(ものの値段)が安い」(30.5%) が最も高く、次いで「⑤ 住む家を探しやすい」(14.3%)、「⑦ 母国への交通機関が充実しており、利用しやすい」(13.0%) の順である。

【福岡の生活環境の満足度】

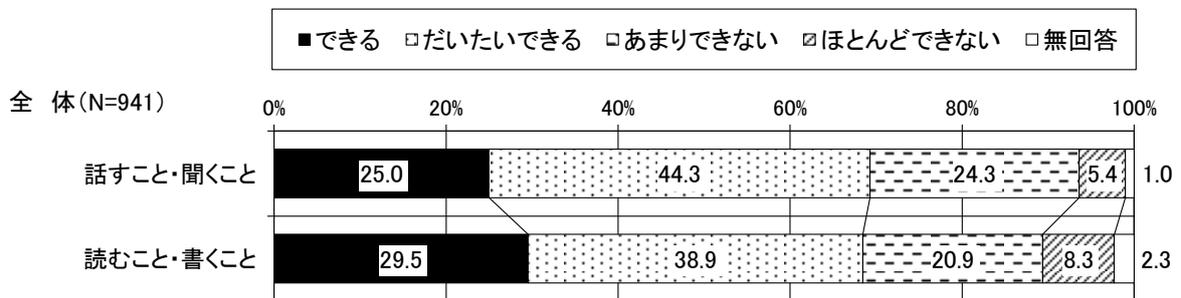


(5) 日本語能力 (問17)

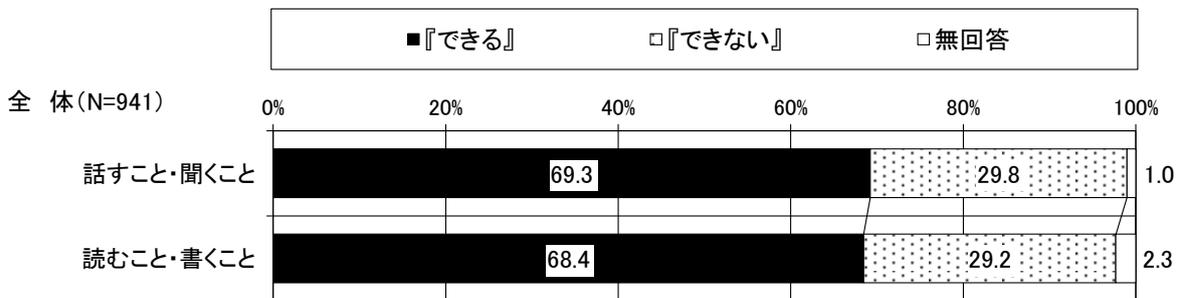
話すこと・聞くことは、「だいたいできる」(44.3%)が最も多く、次いで「できる」(25.0%), 「あまりできない」(24.3%)の順である。「できる」と「だいたいできる」を合わせた『できる』の割合は69.3%, 「ほとんどできない」と「あまりできない」を合わせた『できない』の割合は29.8%である。

読むこと・書くことは、「だいたいできる」(38.9%)が最も多く、次いで「できる」(29.5%), 「あまりできない」(20.9%)の順である。「できる」と「だいたいできる」を合わせた『できる』の割合は68.4%, 「ほとんどできない」と「あまりできない」を合わせた『できない』の割合は29.2%である。

【日本語能力】



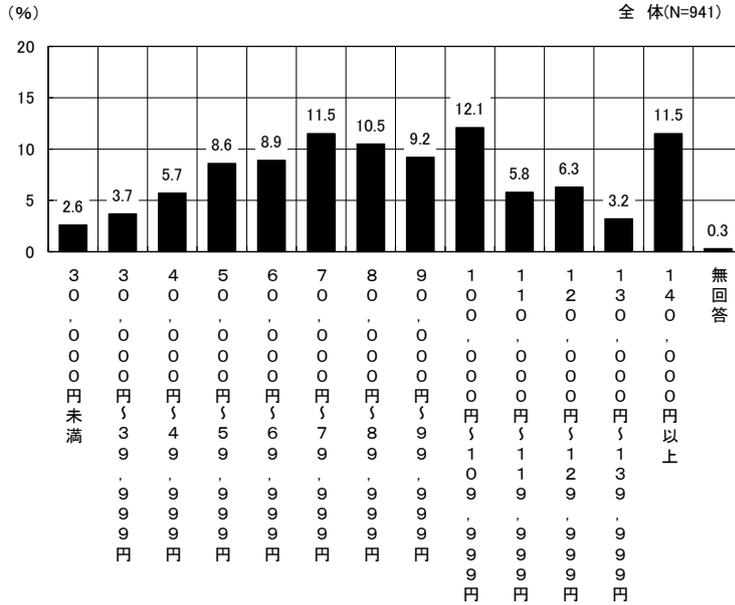
【日本語能力 (2区分)】



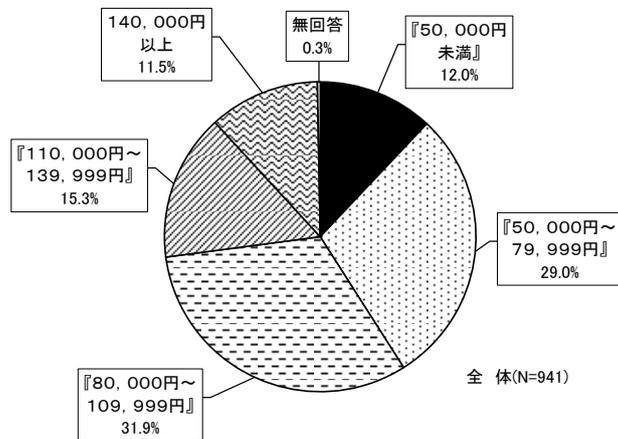
(6) 1か月の生活費 (問18)

1か月の生活費は、『80,000円～109,999円』(31.9%)が最も多く、次いで『50,000円～79,999円』(29.0%),『110,000円～139,999円』(15.3%)の順である。

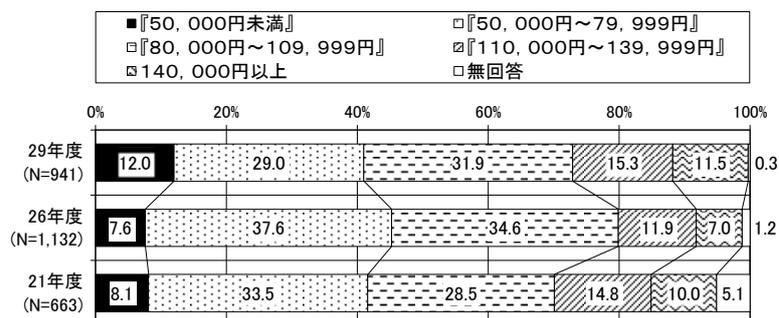
【1か月の生活費】



【1か月の生活費 (5区分)】



【1か月の生活費 (経年)】

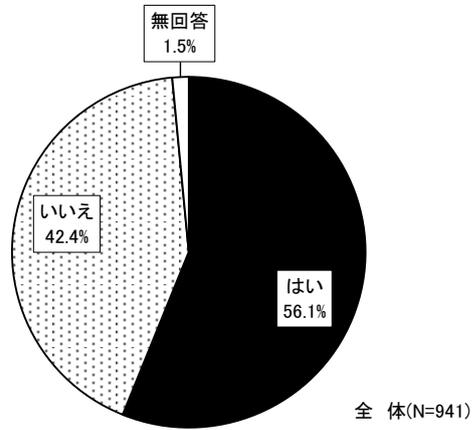


(7) 奨学金の受給状況 (問19)

①奨学金を受けているか

奨学金を受けているかは、「はい」(56.1%)が「いいえ」(42.4%)より多い。

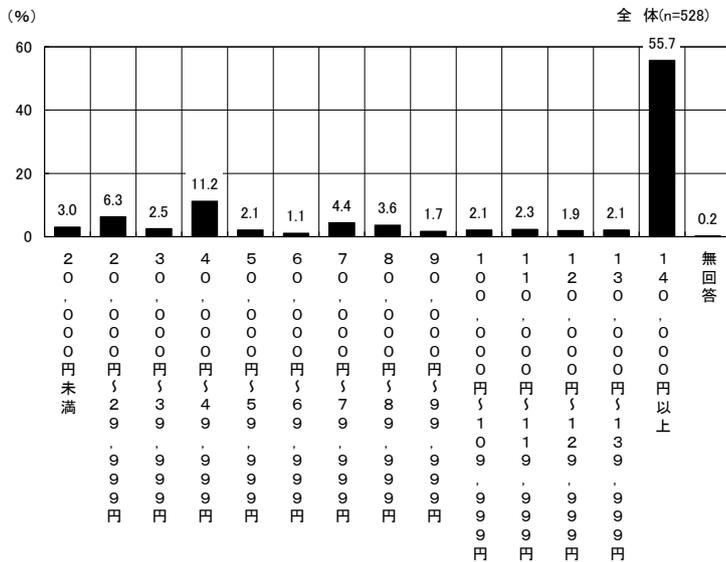
【奨学金を受けているか】



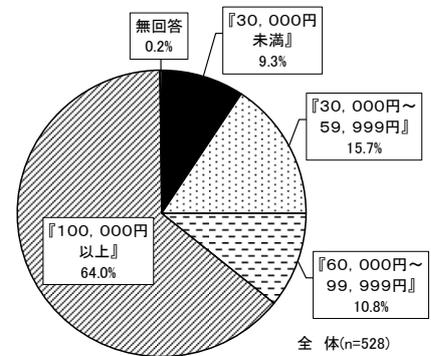
② 1か月の奨学金受給額

1か月の奨学金受給額は、『100,000円以上』(64.0%)が最も多く、次いで『30,000円～59,999円』(15.7%),『60,000円～99,999円』(10.8%)の順である。

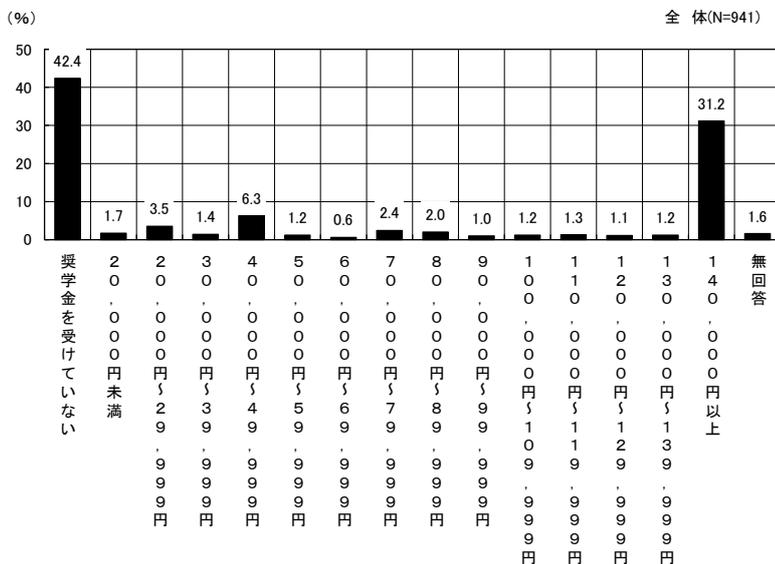
【1か月の奨学金受給額】



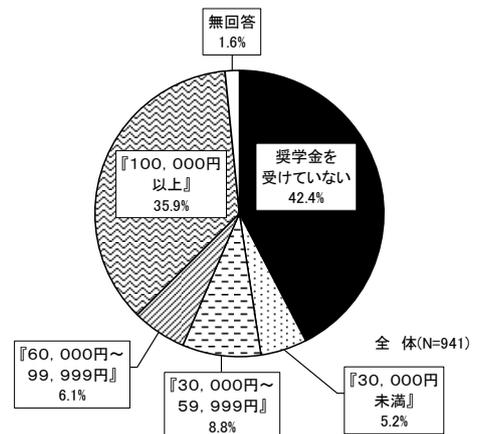
【1か月の奨学金受給額（4区分）】



【1か月の奨学金受給額
（「奨学金を受けていない」を含む）】



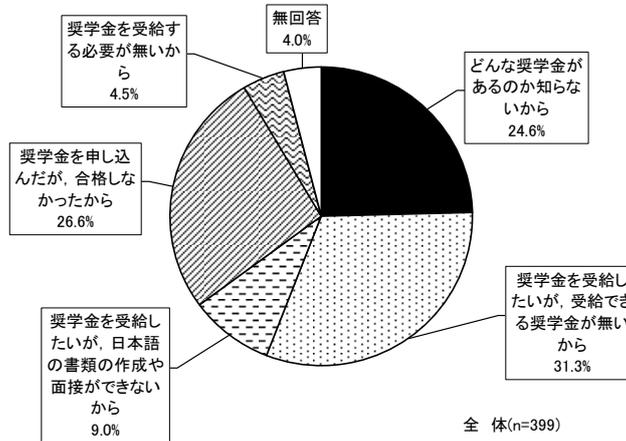
【1か月の奨学金受給額
（「奨学金を受けていない」を含む）（5区分）】



③奨学金を受けていない理由

奨学金を受けていない理由は、「奨学金を受給したいが、受給できる奨学金が無いから」(31.3%)が最も多く、次いで「奨学金を申し込んだが、合格しなかったから」(26.6%)、「どんな奨学金があるのか知らないから」(24.6%)の順である。

【奨学金を受けていない理由】

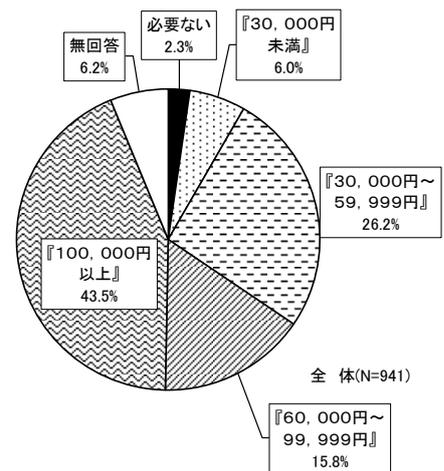
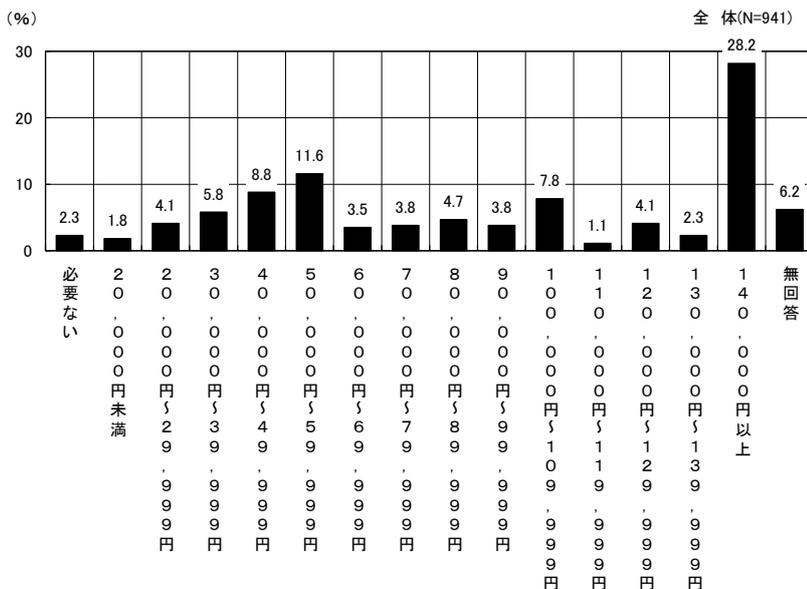


④必要だと思う1か月あたりの奨学金の額

必要だと思う1か月あたりの奨学金の額は、『100,000円以上』(43.5%)が最も多く、次いで『30,000円～59,999円』(26.2%)、『60,000円～99,999円』(15.8%)の順である。

【必要だと思う1か月あたりの奨学金の額】

【必要だと思う1か月あたりの奨学金の額(5区分)】



(8) アルバイトの状況 (問20)

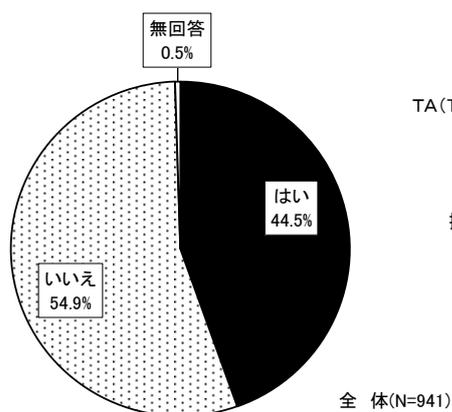
① アルバイトの有無

アルバイトの有無は、「いいえ」(54.9%)が「はい」(44.5%)より多い。

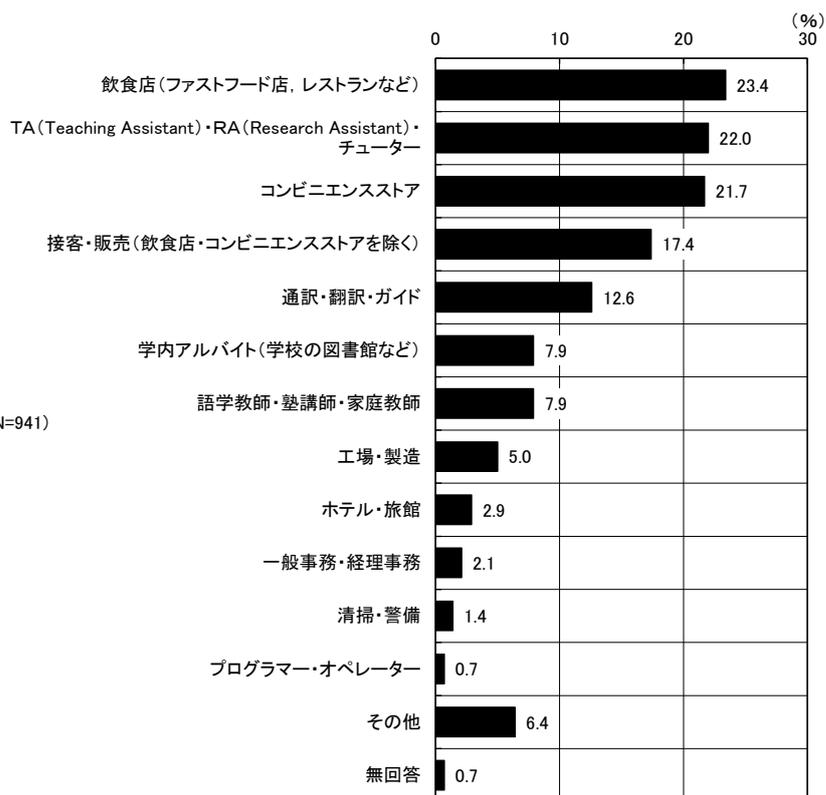
② アルバイトの内容

アルバイトの内容は、「飲食店(ファストフード店, レストランなど)」(23.4%)が最も多く、次いで「TA・RA・チューター」(22.0%),「コンビニエンスストア」(21.7%)の順である。

【アルバイトの有無】



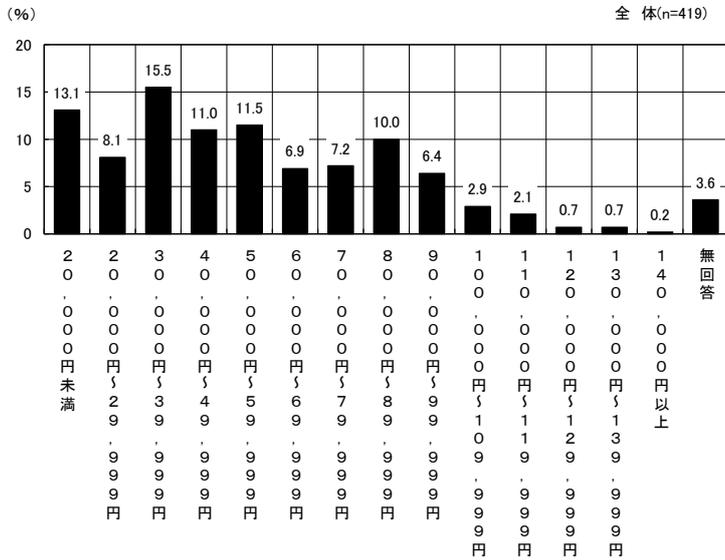
【アルバイトの内容】



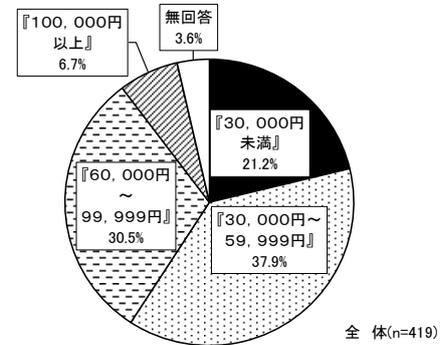
③ 1か月あたりのアルバイト収入

1か月あたりのアルバイト収入は、『30,000円～59,999円』（37.9%）が最も多く、次いで『60,000円～99,999円』（30.5%）、『30,000円未満』（21.2%）の順である。

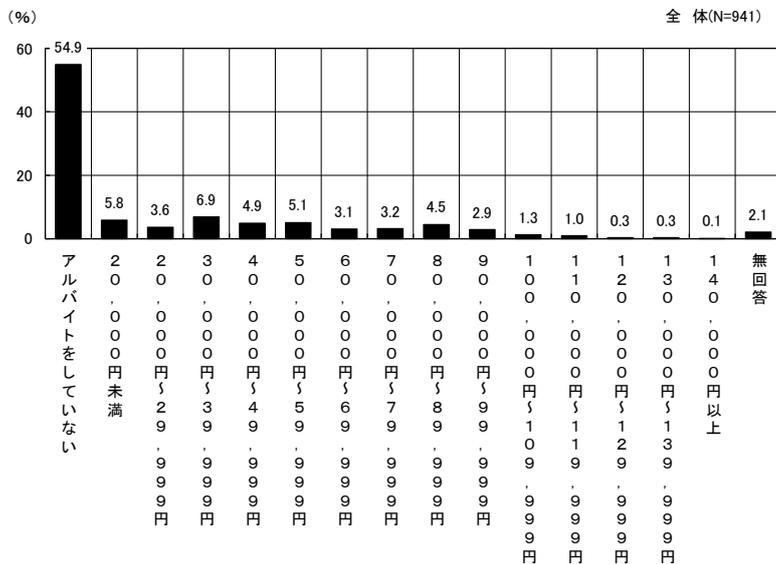
【1か月あたりのアルバイト収入】



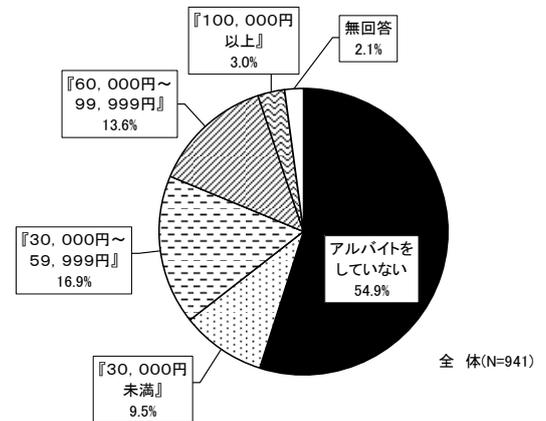
【1か月あたりのアルバイト収入（4区分）】



【1か月あたりのアルバイト収入
（「アルバイトをしていない」を含む）】



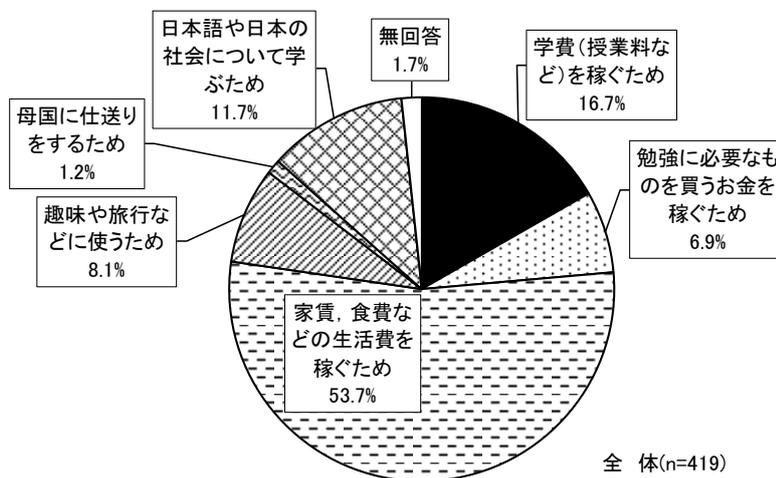
【1か月あたりのアルバイト収入
（「アルバイトをしていない」を含む）（5区分）】



④アルバイトの主な目的

アルバイトの主な目的は、「家賃、食費などの生活費を稼ぐため」(53.7%)が最も多く、次いで「学費(授業料など)を稼ぐため」(16.7%)、「日本語や日本の社会について学ぶため」(11.7%)の順である。

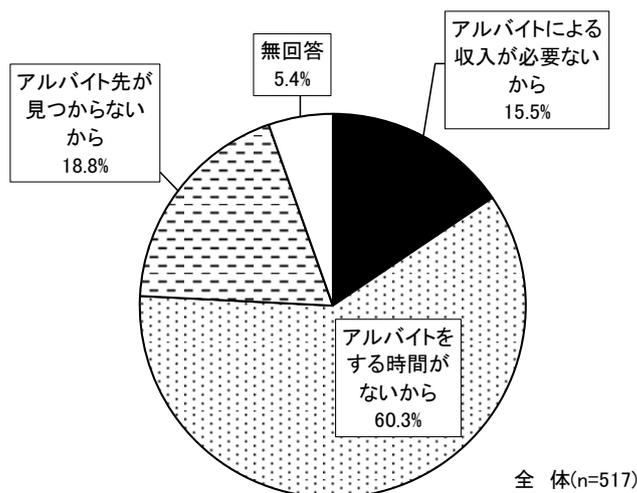
【アルバイトの主な目的】



⑤アルバイトをしていない理由

アルバイトをしていない理由は、「アルバイトをする時間がないから」(60.3%)が最も多く、次いで「アルバイト先が見つからないから」(18.8%)、「アルバイトによる収入が足りないから」(15.5%)の順である。

【アルバイトをしていない理由】



(9) イベント・行事への参加状況 (問21)

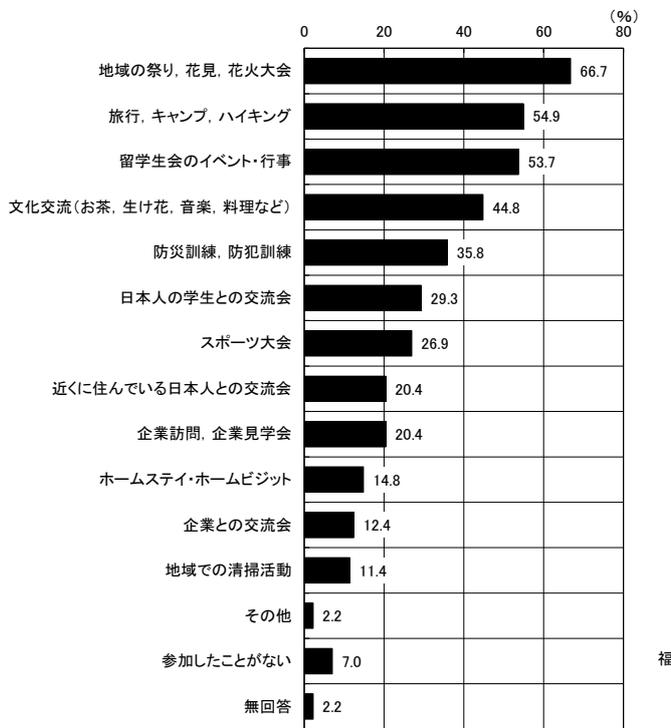
①参加したことのあるイベント・行事

参加したことのあるイベント・行事は、「地域の祭り、花見、花火大会」(66.7%)が最も多く、次いで「旅行、キャンプ、ハイキング」(54.9%)、「留学生会のイベント・行事」(53.7%)の順である。また、イベント・行事に一つでも『参加したことがある』の割合は90.8%である。

②参加したイベント・行事の情報の入手媒体

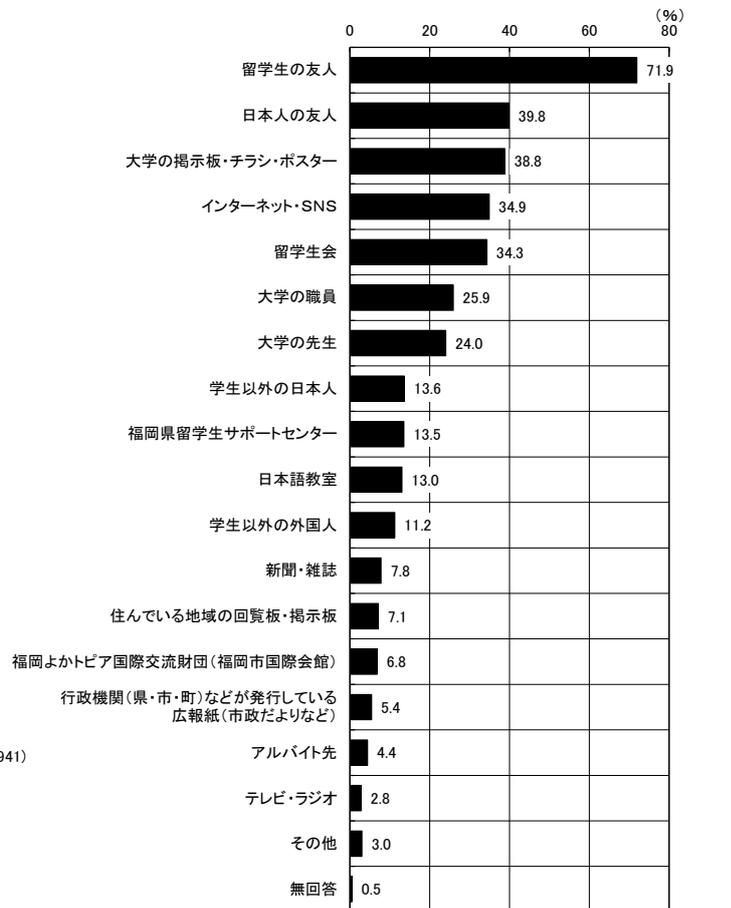
参加したイベント・行事の情報の入手媒体は、「留学生の友人」(71.9%)が最も多く、次いで「日本人の友人」(39.8%)、「大学の掲示板・チラシ・ポスター」(38.8%)の順である。

【参加したことのあるイベント・行事】



全体(N=941)

【参加したイベント・行事の情報の入手媒体】

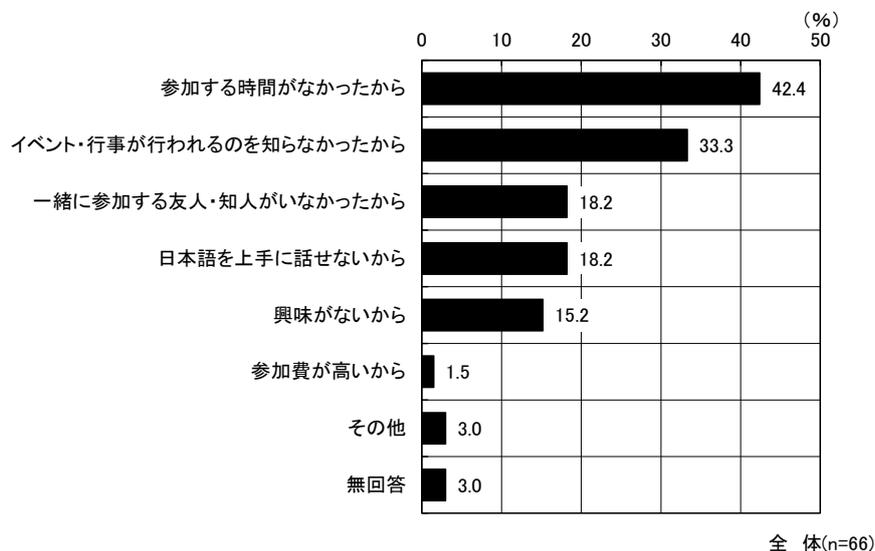


全体(n=854)

③ イベント・行事に参加したことがない理由

イベント・行事に参加したことがない理由は、「参加する時間がなかったから」(42.4%)が最も多く、次いで「イベント・行事が行われるのを知らなかったから」(33.3%),「一緒に参加する友人・知人がいなかったから」「日本語を上手に話せないから」(18.2%)の順である。

【イベント・行事に参加したことがない理由】



(10) 日本人との交流希望 (問22)

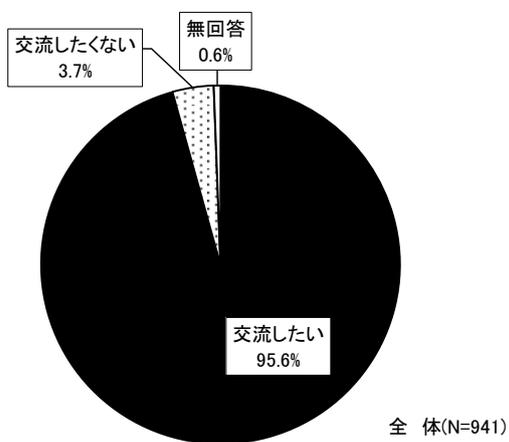
① 日本人との交流希望

日本人との交流希望は、「交流したい」(95.6%)が9割を超えている。

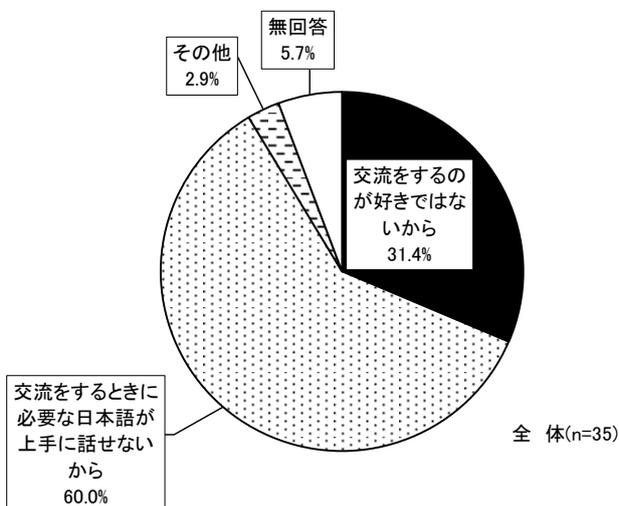
② 日本人と交流したくない理由

日本人と交流したくない理由は、「交流をするときに必要な日本語が上手に話せないから」(60.0%)が最も多く、次いで「交流をするのが好きではないから」(31.4%),「その他」(2.9%)の順である。

【日本人との交流希望】



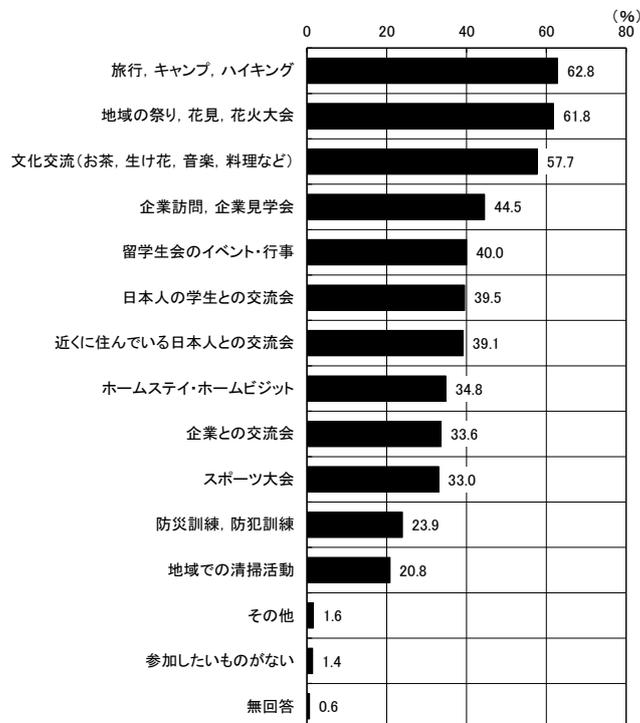
【日本人と交流したくない理由】



(11) 参加したいイベント・行事 (問23)

参加したいイベント・行事は、「旅行、キャンプ、ハイキング」(62.8%)が最も多く、次いで「地域の祭り、花見、花火大会」(61.8%)、「文化交流(お茶、生け花、音楽、料理など)」(57.7%)の順である。

【参加したいイベント・行事】

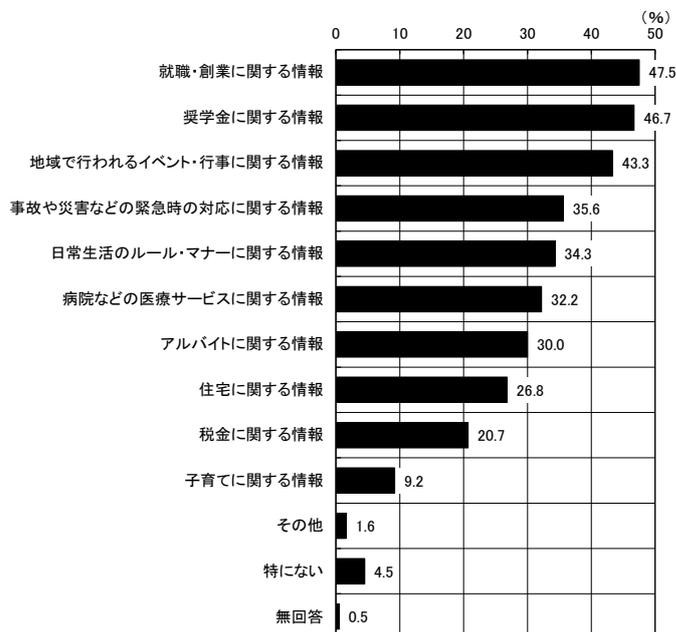


全体(N=941)

(12) 特に必要だと感じている情報 (問24)

特に必要だと感じている情報は、「就職・創業に関する情報」(47.5%)が最も多く、次いで「奨学金に関する情報」(46.7%)、「地域で行われるイベント・行事に関する情報」(43.3%)の順である。

【特に必要だと感じている情報】

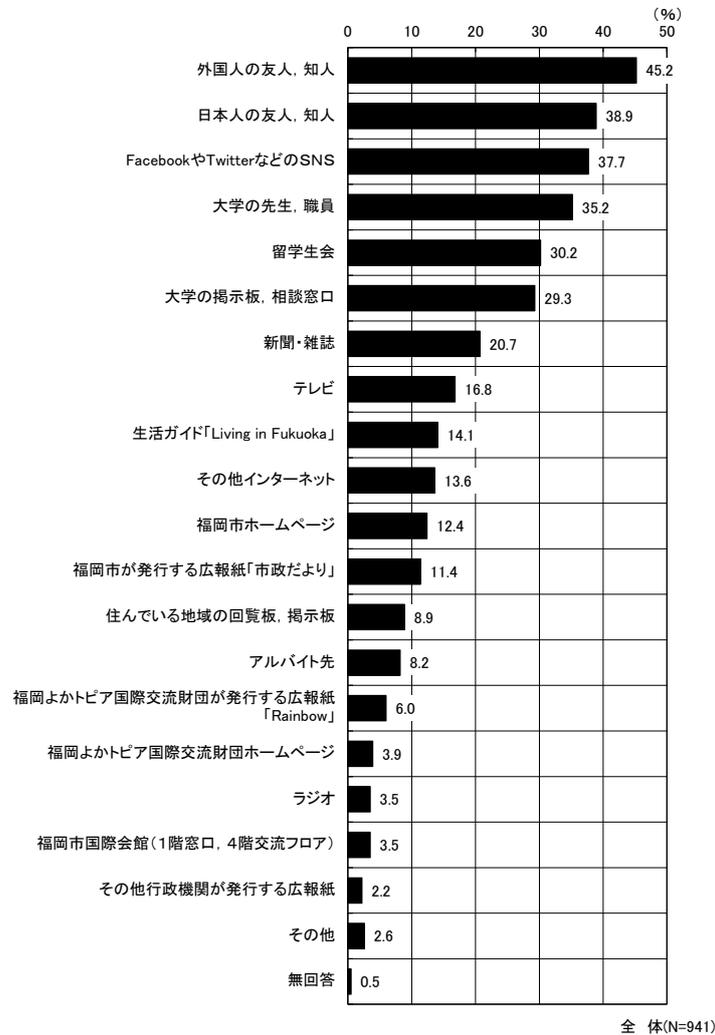


全体(N=941)

(13) 地域情報・生活情報の入手媒体（問25）

地域情報・生活情報の入手媒体は、「外国人の友人，知人」（45.2%）が最も多く，次いで「日本人の友人，知人」（38.9%），「Facebook や Twitter などの SNS」（37.7%）の順である。

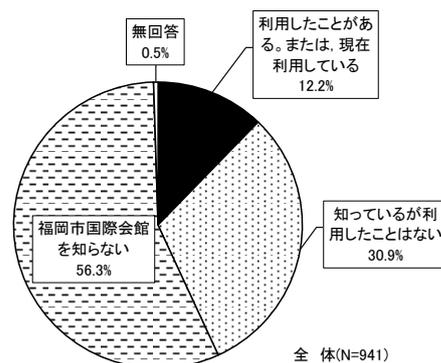
【地域情報・生活情報の入手媒体】



(14) 福岡市国際会館の利用経験（問26）

福岡市国際会館の利用経験は、「福岡市国際会館を知らない」（56.3%）が最も多く，次いで「知っているが利用したことはない」（30.9%），「利用したことがある。または，現在利用している」（12.2%）の順である。

【福岡市国際会館の利用経験】



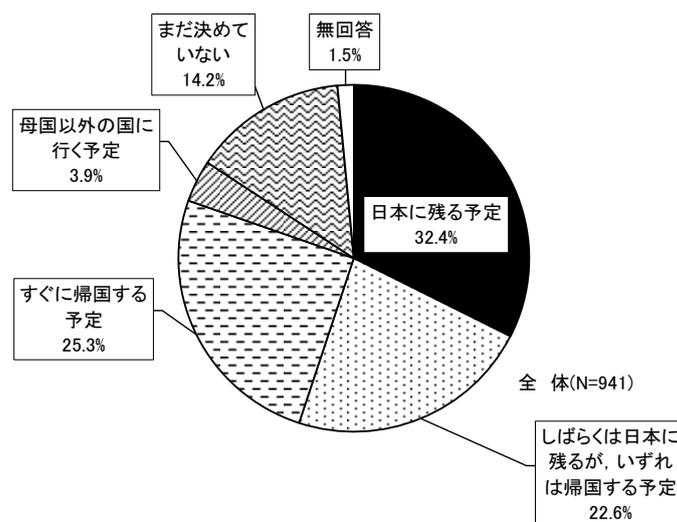
IV 卒業後の計画について

(1) 日本への滞在予定 (問27)

① 留学終了後の予定

留学終了後の予定は、「日本に残る予定」(32.4%)が最も多く、次いで「すぐに帰国する予定」(25.3%),「しばらくは日本に残るが、いずれは帰国する予定」(22.6%)の順である。

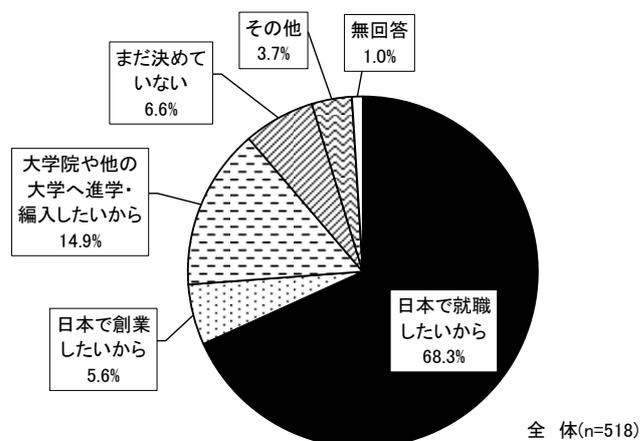
【留学終了後の予定】



② 日本に残りたい理由

日本に残りたい理由は、「日本で就職したいから」(68.3%)が最も多く、次いで「大学院や他の大学へ進学・編入したいから」(14.9%),「まだ決めていない」(6.6%)の順である。

【日本に残りたい理由】



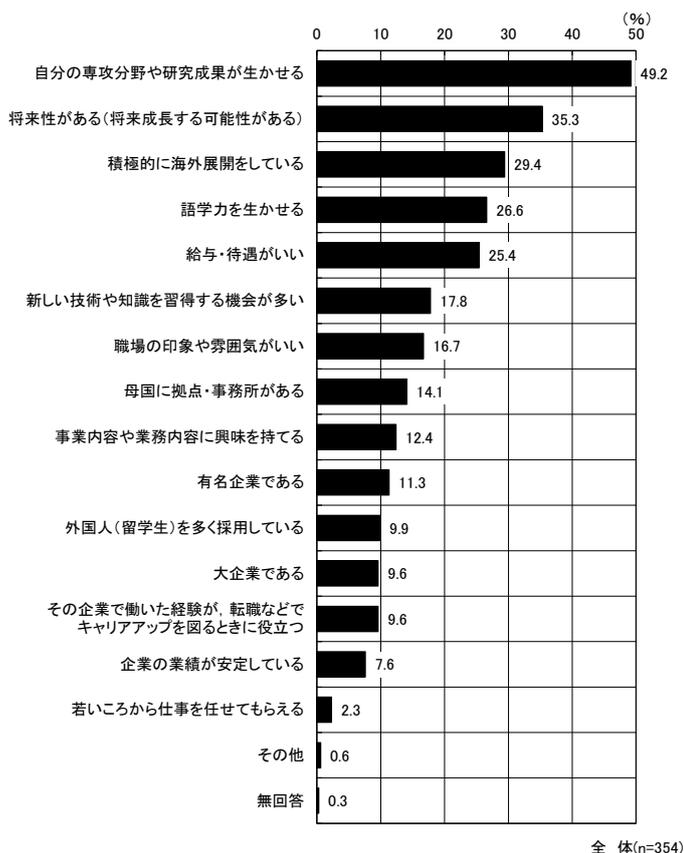
V 日本での就職について

※問28～問36は、問27②で「日本で就職したいから」を選んだ回答者への設問

(1) 就職する企業を選ぶ際に重視する点 (問28)

就職する企業を選ぶ際に重視する点は、「自分の専攻分野や研究成果が活かせる」(49.2%)が最も多く、次いで「将来性がある(将来成長する可能性がある)」(35.3%)、「積極的に海外展開をしている」(29.4%)の順である。

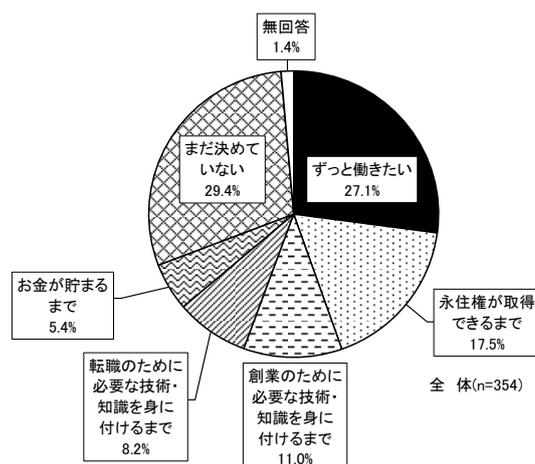
【就職する企業を選ぶ際に重視する点】



(2) 日本で就職した場合いつまで働きたいか (問29)

日本で就職した場合いつまで働きたいかは、「まだ決めていない」(29.4%)が最も多く、次いで「ずっと働きたい」(27.1%)、「永住権が取得できるまで」(17.5%)の順である。

【日本で就職した場合いつまで働きたいか】

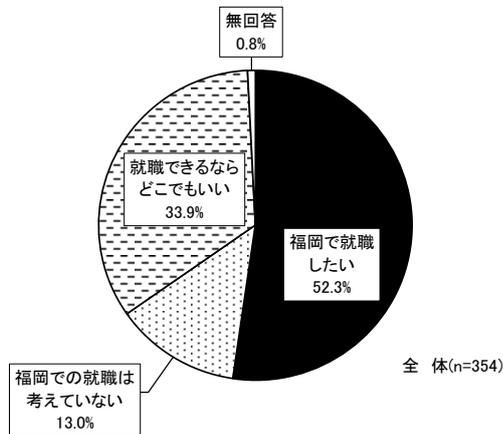


(3) 福岡での就職希望 (問30)

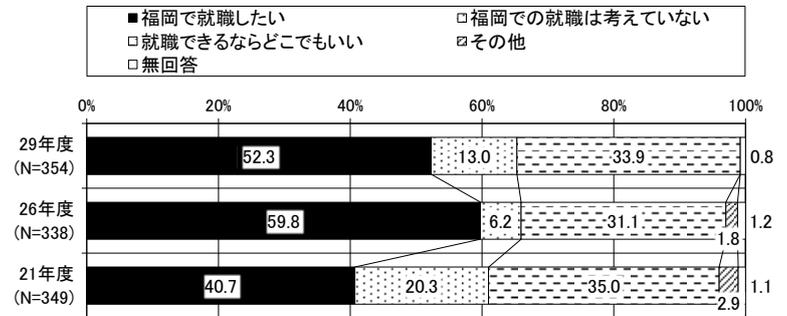
①福岡での就職希望

福岡での就職希望は、「福岡で就職したい」(52.3%)が最も多く、次いで「就職できるならどこでもいい」(33.9%)、「福岡での就職は考えていない」(13.0%)の順である。

【福岡での就職希望】



【福岡での就職希望 (経年)】



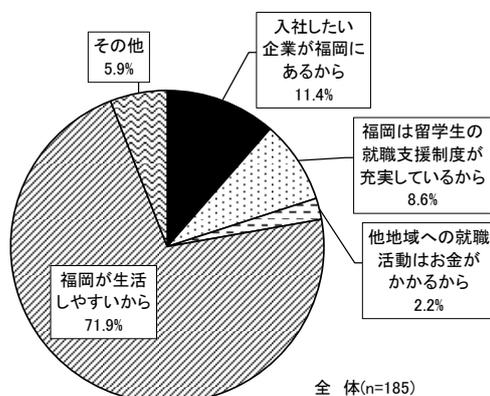
②福岡で就職したい理由

福岡で就職したい理由は、「福岡が生活しやすいから」(71.9%)が最も多く、次いで「入社したい企業があるから」(11.4%)、「福岡は留学生の就職支援制度が充実しているから」(8.6%)の順である。

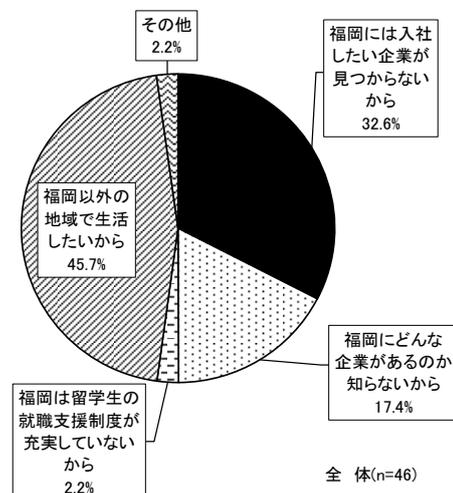
③福岡で就職しない理由

福岡で就職しない理由は、「福岡以外の地域で生活したいから」(45.7%)が最も多く、次いで「福岡には入社したい企業が見つからないから」(32.6%)、「福岡にどんな企業があるのかわからないから」(17.4%)の順である。

【福岡で就職したい理由】



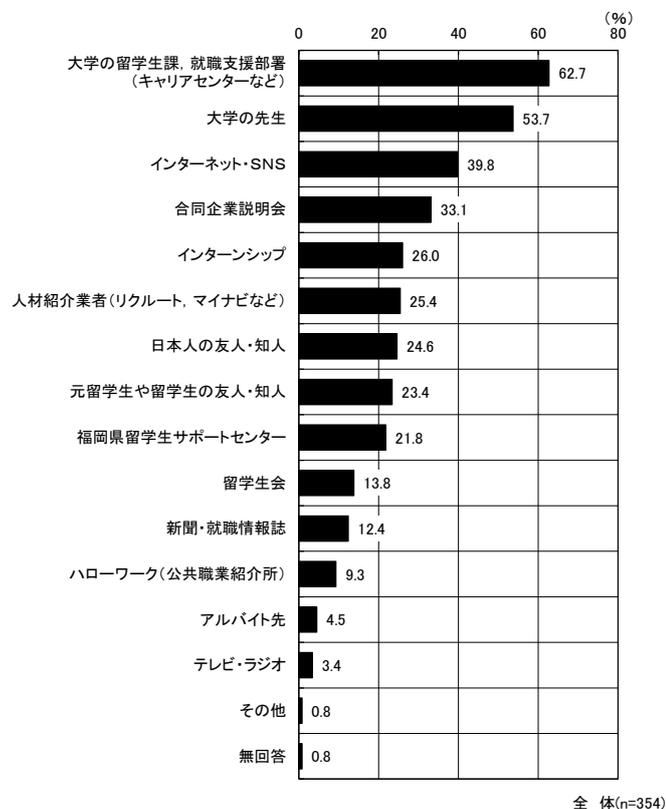
【福岡で就職しない理由】



(4) 就職活動で参考にするもの (問31)

就職活動で参考にするものは、「大学の留学生課, 就職支援部署 (キャリアセンターなど)」(62.7%) が最も多く, 次いで「大学の先生」(53.7%), 「インターネット・SNS」(39.8%) の順である。

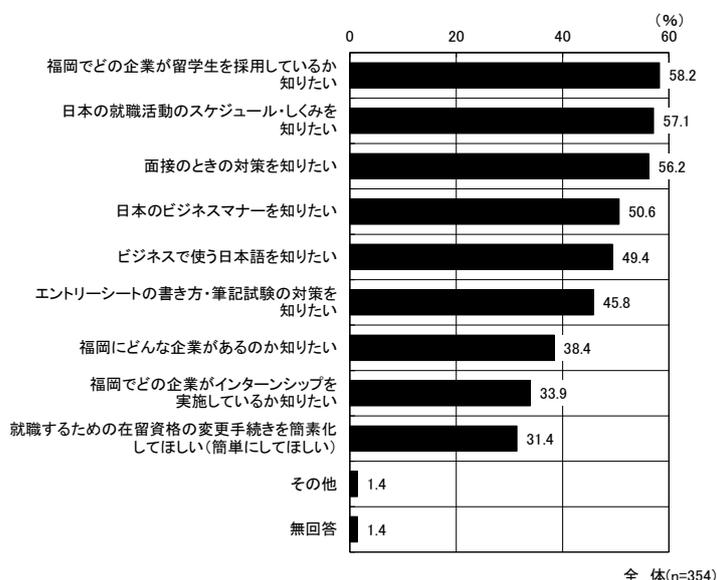
【就職活動で参考にするもの】



(5) 福岡で就職活動をする場合に必要なサポート (問32)

福岡で就職活動をする場合に必要なサポートは、「福岡でどの企業が留学生を採用しているか知りたい」(58.2%) が最も多く, 次いで「日本の就職活動のスケジュール・しくみを知りたい」(57.1%), 「面接のときの対策を知りたい」(56.2%) の順である。

【福岡で就職活動をする場合に必要なサポート】

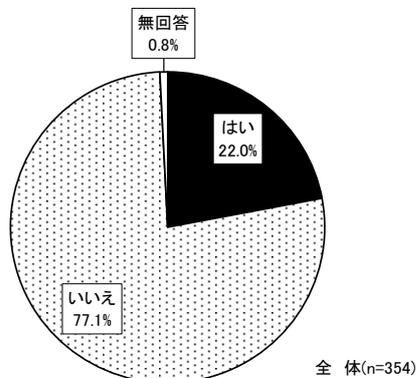


(6) 日本でのインターンシップの経験 (問33)

①日本でのインターンシップ参加経験

日本でのインターンシップ参加経験は、「いいえ」(77.1%)が「はい」(22.0%)より多い。

【日本でのインターンシップ参加経験】



②日本でインターンシップに参加した時期

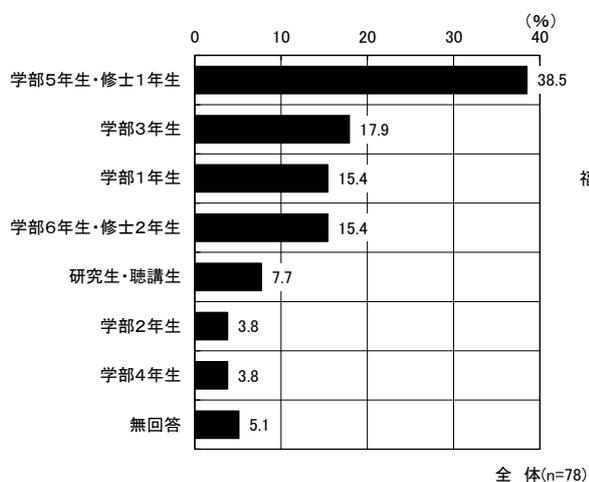
日本でインターンシップに参加した時期は、「学部5年生・修士1年生」(38.5%)が最も多く、次いで「学部3年生」(17.9%)、「学部1年生」「学部6年生・修士2年生」(15.4%)の順である。

※「学部5年生」「学部6年生」は、医学、薬学など、6年制の学部にも所属する者を指す。

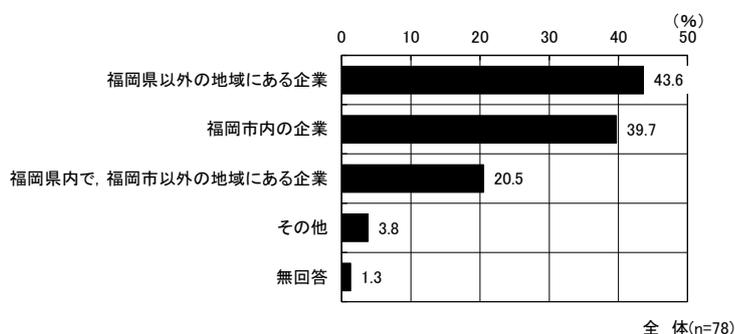
③参加したインターンシップが行われた地域

参加したインターンシップが行われた地域は、「福岡県以外の地域にある企業」(43.6%)が最も多く、次いで「福岡市内の企業」(39.7%)、「福岡県内で、福岡市以外の地域にある企業」(20.5%)の順である。

【参加した時期】



【参加した地域】

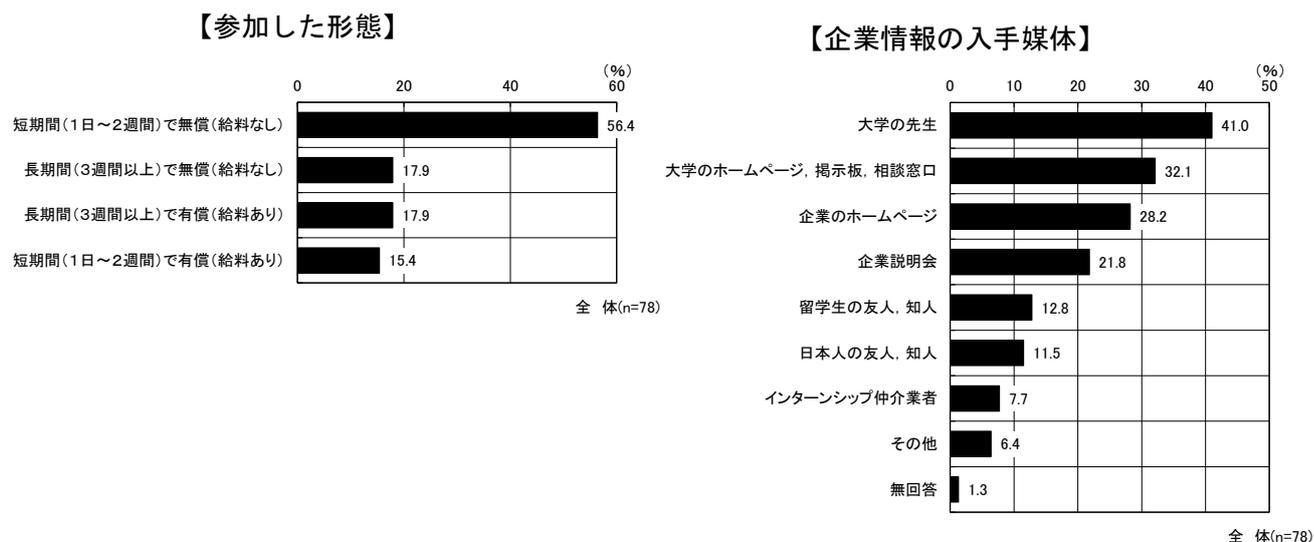


④参加したインターンシップの形態

参加したインターンシップの形態は、「短期間で無償」(56.4%)が最も多く、次いで「長期間で無償」「長期間で有償」(17.9%)、「短期間で有償」(15.4%)の順である。

⑤インターンシップを探す際に企業の情報を得た媒体

インターンシップを探す際に企業の情報を得た媒体は、「大学の先生」(41.0%)が最も多く、次いで「大学のホームページ, 掲示板, 相談窓口」(32.1%)、「企業のホームページ」(28.2%)の順である。



(7) 福岡の企業へのインターンシップ (問34)

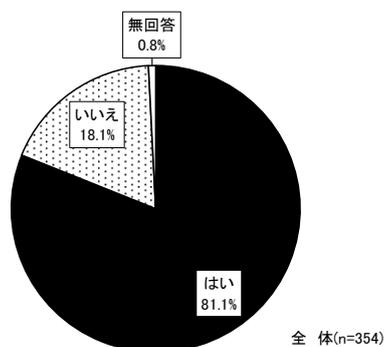
①福岡の企業へのインターンシップの参加希望

福岡の企業へのインターンシップの参加希望は、「はい」(81.1%)が8割を超えている。

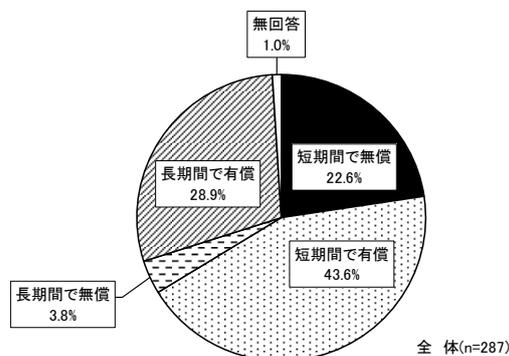
②参加したいインターンシップの形態

参加したいインターンシップの形態は、「短期間で有償」(43.6%)が最も多く、次いで「長期間で有償」(28.9%)、「短期間で無償」(22.6%)の順である。

【福岡の企業への
インターンシップの参加希望】



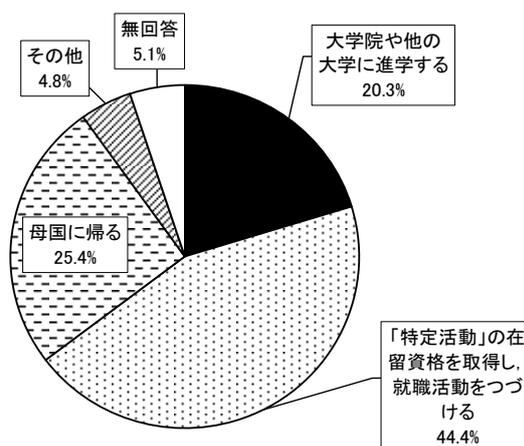
【参加したいインターンシップの形態】



(8) 就職先が決まらなかった場合の予定 (問35)

就職先が決まらなかった場合の予定は、「特定活動」の在留資格を取得し、就職活動をつづける」(44.4%)が最も多く、次いで「母国に帰る」(25.4%)、「大学院や他の大学に進学する」(20.3%)の順である。

【就職先が決まらなかった場合の予定】

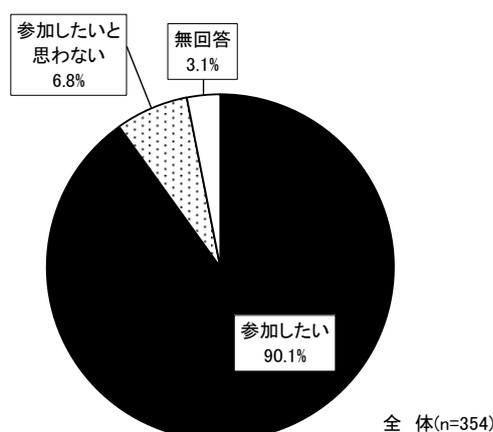


全体(n=354)

(9) 既卒留学生対象の福岡企業へのインターンシップの参加希望 (問36)

既卒留学生対象の福岡企業へのインターンシップの参加希望は、「参加したい」(90.1%)が9割を超えている。

【既卒留学生対象の福岡企業へのインターンシップの参加希望】



全体(n=354)

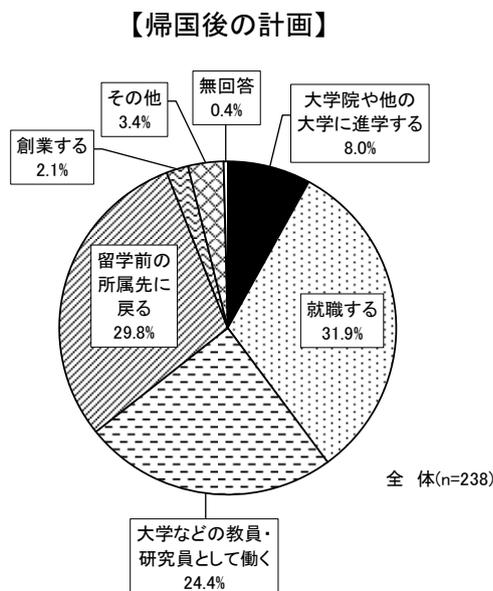
VI 帰国後の計画について

※問37～問39は、問27①で「すぐに帰国する予定」を選んだ回答者への設問

(1) 帰国後の計画 (問37)

① 帰国後の計画

帰国後の計画は、「就職する」(31.9%)が最も多く、次いで「留学前の所属先に戻る」(29.8%)、「大学などの教員・研究員として働く」(24.4%)の順である。

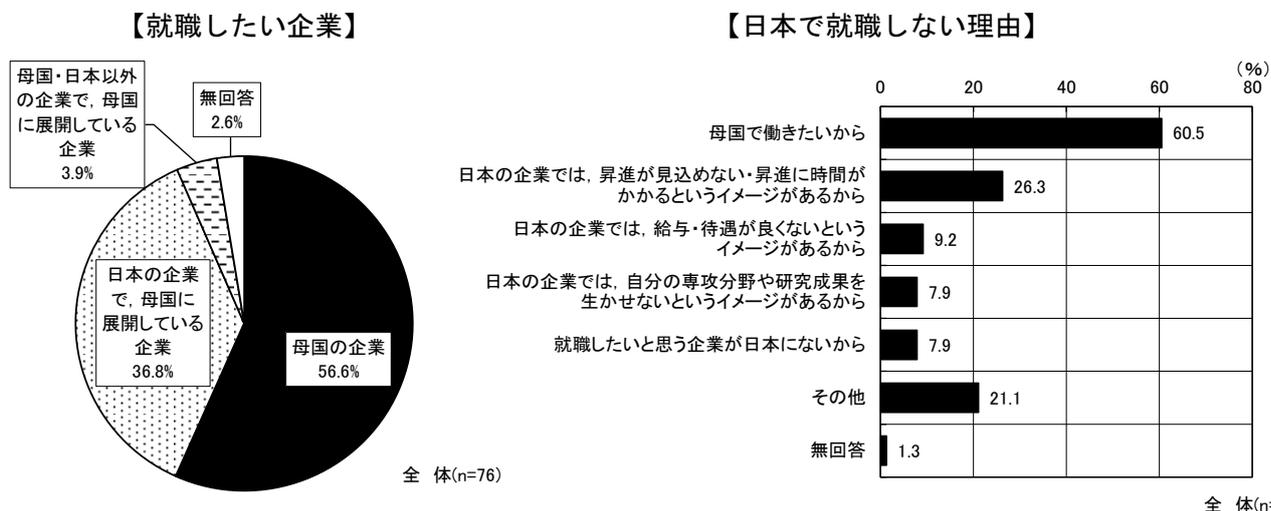


② 就職したい企業

就職したい企業は、「母国の企業」(56.6%)が最も多く、次いで「日本の企業で、母国に展開している企業」(36.8%)、「母国・日本以外の企業で、母国に展開している企業」(3.9%)の順である。

③ 日本で就職しない理由

日本で就職しない理由は、「母国で働きたいから」(60.5%)が最も多く、次いで「日本の企業では、昇進が見込めない・昇進に時間がかかるというイメージがあるから」(26.3%)、「日本の企業では、給与・待遇が良くないというイメージがあるから」(9.2%)の順である。

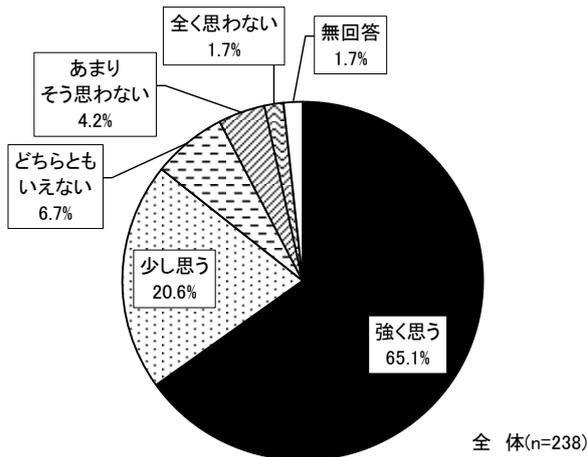


(2) 帰国後も福岡とのネットワークを大事にしたいか (問38)

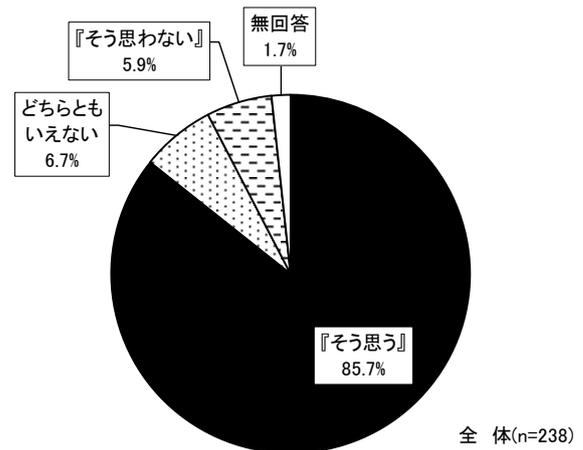
帰国後も福岡で出会った人たちとのネットワークを大事にしたいかは、「強く思う」(65.1%)が最も多く、次いで「少し思う」(20.6%),「どちらともいえない」(6.7%)の順である。

「強く思う」と「少し思う」を合わせた『そう思う』の割合は85.7%である。一方、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合は5.9%である。

【帰国後も福岡で出会った人たちとのネットワークを大事にしたいか】



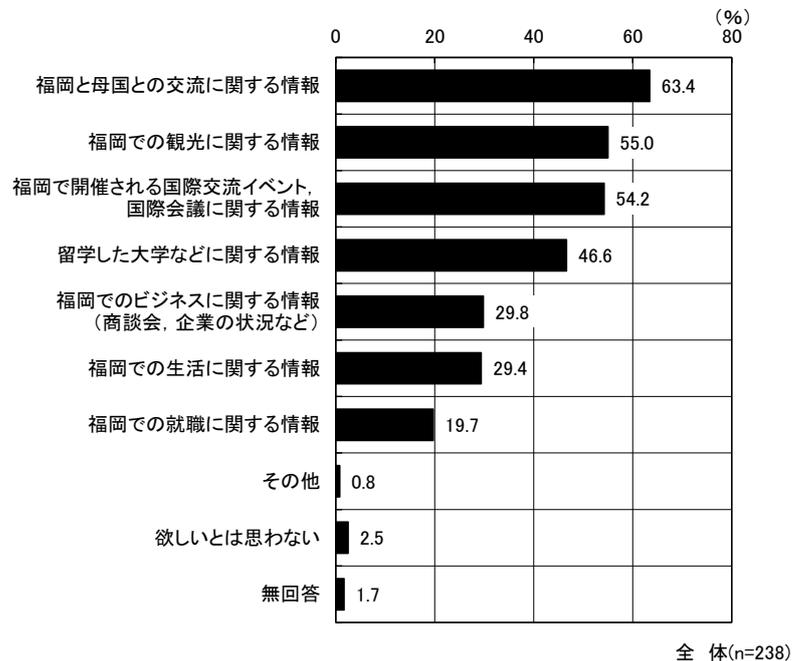
【帰国後も福岡で出会った人たちとのネットワークを大事にしたいか (3区分)】



(3) 帰国後にほしい福岡に関する情報 (問39)

帰国後にほしい福岡に関する情報は、「福岡と母国との交流に関する情報」(63.4%)が最も多く、次いで「福岡での観光に関する情報」(55.0%),「福岡で開催される国際交流イベント、国際会議に関する情報」(54.2%)の順である。

【帰国後にほしい福岡に関する情報】

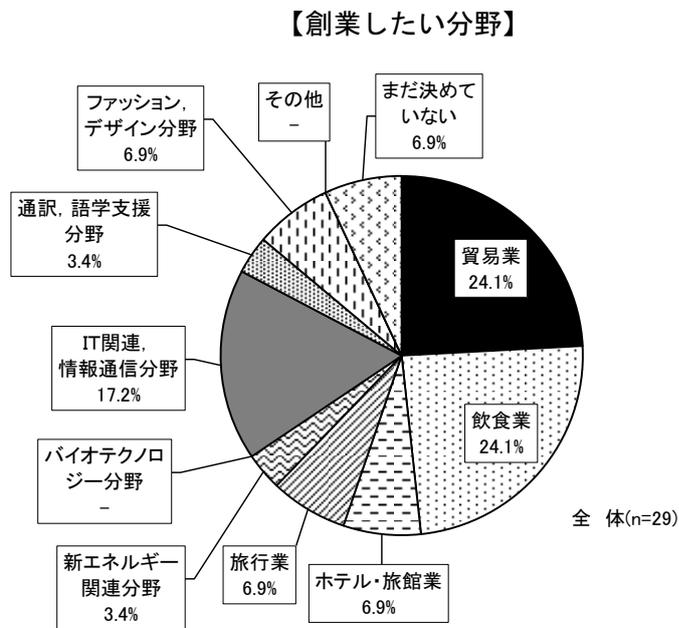


VII 日本での創業について

※問40～問43は、問27②で「日本で創業したいから」を選んだ回答者への設問

(1) 創業したい分野 (問40)

創業したい分野は、「貿易業」「飲食業」(24.1%)が最も多く、次いで「IT関連, 情報通信分野」(17.2%), 「ホテル・旅館業」「旅行業」「ファッション, デザイン分野」「まだ決めていない」(6.9%)の順である。

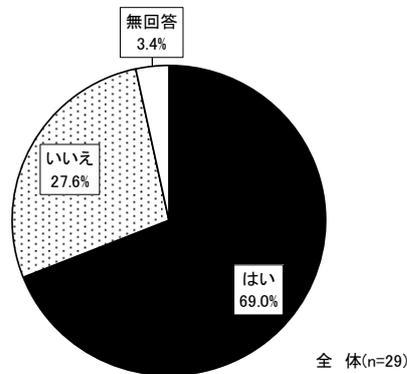


(2) 福岡での創業希望 (問41)

①福岡での創業希望

福岡での創業希望は、「はい」(69.0%)が「いいえ」(27.6%)より多い。

【福岡での創業希望】



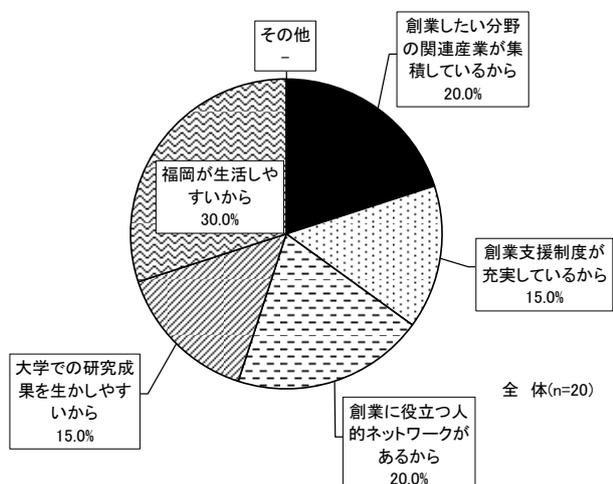
②福岡で創業したい理由

福岡で創業したい理由は、「福岡が生活しやすいから」(30.0%)が最も多く、次いで「創業したい分野の関連産業が集積しているから」「創業に役立つ人的ネットワークがあるから」(20.0%),「創業支援制度が充実しているから」「大学での研究成果を生かしやすいから」(15.0%)の順である。

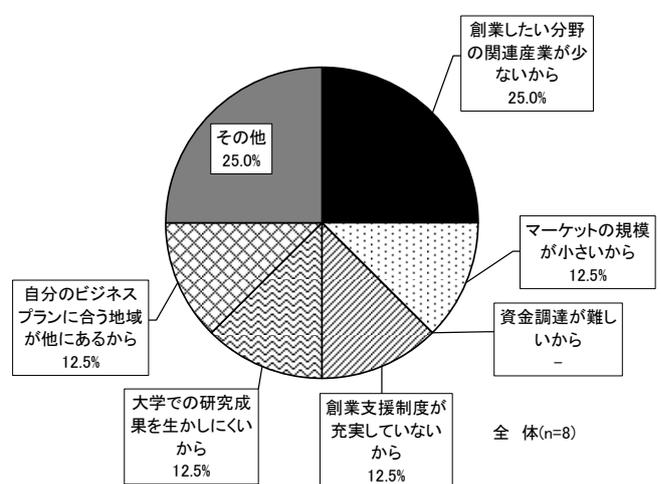
③福岡で創業しない理由

福岡で創業しない理由は、「創業したい分野の関連産業が少ないから」「その他」(25.0%)が最も多く、次いで「マーケットの規模が小さいから」「創業支援制度が充実していないから」「大学での研究成果を生かすにくいから」「自分のビジネスプランに合う地域が他にあるから」(12.5%)の順である。

【福岡で創業したい理由】



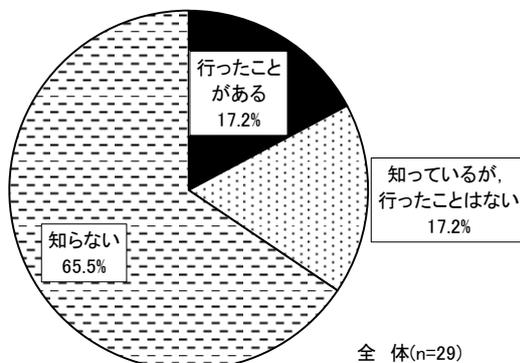
【福岡で創業しない理由】



(3) FUKUOKA growth next を知っているか (問42)

FUKUOKA growth next を知っているかは、「知らない」(65.5%)が最も多く、次いで「行ったことがある」「知っているが、行ったことはない」(17.2%)の順である。

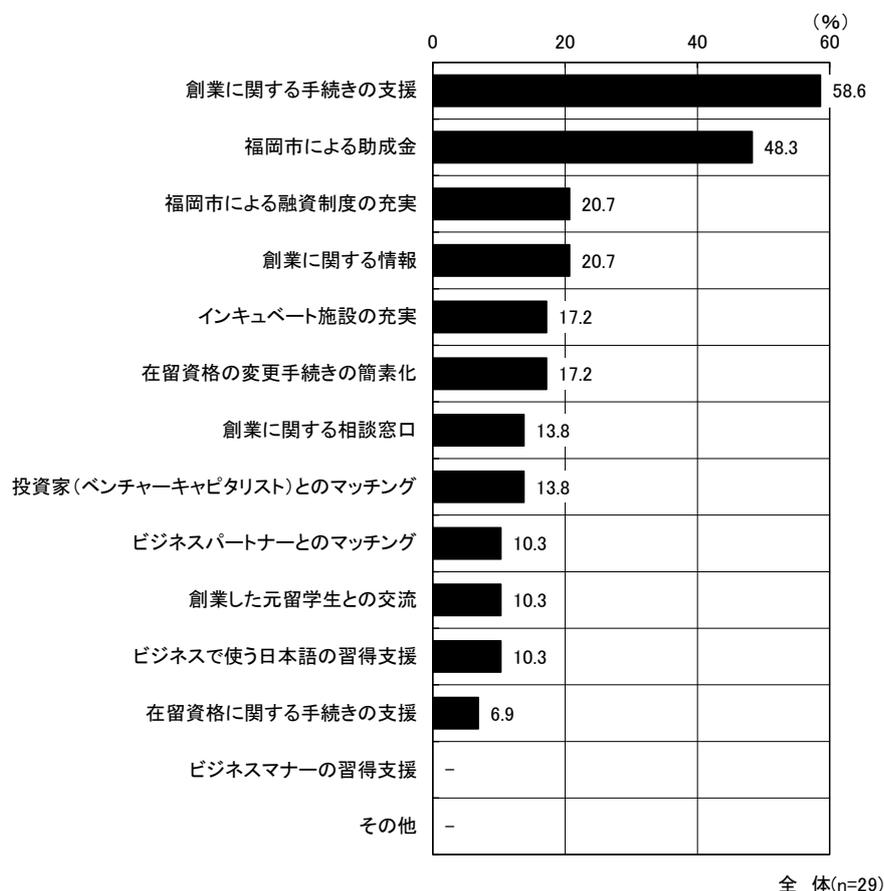
【FUKUOKA growth next を知っているか】



(4) 創業する際に必要な支援 (問43)

創業する際に必要な支援は、「創業に関する手続きの支援」(58.6%)が最も多く、次いで「福岡市による助成金」(48.3%)、「福岡市による融資制度の充実」「創業に関する情報」(20.7%)の順である。

【創業する際に必要な支援】



平成29年度
福岡都市圏における
留学生実態調査

平成30年3月

発行／福岡市総務企画局国際部国際政策課

〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8の1

電話／092-711-4022 ファクス／092-733-5597

メール／kokusaiseisaku.GAPB@city.fukuoka.lg.jp

ホームページ／<http://www.city.fukuoka.lg.jp/>